

この履修要項は、諸君が学業を進めていくうえで必要不可欠な、学部の基本的な事項を収録したものであり、卒業時まで使用する。

なくさないように十分に注意するとともに、わからないことがある場合にはこの要項をよく読むこと

2004

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

南山大学授業科目履修規程	4
南山大学試験規程	12
共通教育科目履修要項	19
人 文 学 部	
人文学部履修要項	35
キリスト教学科履修要項・カリキュラム表	37
人類文化学科履修要項・カリキュラム表	45
心理人間学科履修要項・カリキュラム表	53
日本文化学科履修要項・カリキュラム表	60
外 国 語 学 部	
外国語学部履修要項	69
外国語学部学科別カリキュラム表	93
経 済 学 部	
経済学部履修要項・経済学部経済学科カリキュラム表 ...	111
経 営 学 部	
経営学部経営学科履修要項・カリキュラム表	125
法 学 部	
法学部履修要項・法学部法律学科カリキュラム表	141

そ の 他

「会計士講座」と公認会計士・税理士試験151
公務員試験について154
「法職特別課外講座」について155

履修に関する取扱要領他

卒業論文等提出についての注意事項156
派遣留学生の帰国後における授業科目履修に関する手続等取扱要領...160
外国人留学生の授業科目履修に関する特例161
外国語検定試験による単位認定制度について163
愛知学長懇話会・単位互換事業による聴講制度について...165
名古屋／瀬戸キャンパス間履修について166

南山大学授業科目履修規程

第1章 総 則

(この規程の趣旨)

第1条 「南山大学学則」第14条によりこの規程を制定する。
授業科目履修に関する事項は、この規程の定めるところによる。

第2章 授 業 科 目

(授業科目の区分)

第2条 授業科目は、共通教育科目、学部共通科目および学科科目とし、ほかに外国人留学生のための日本語科目を開設する。

(共通教育科目)

第3条 共通教育科目は、宗教科目、体育科目、「人間の尊厳」科目、テーマ科目、分野科目、情報科目(アカデミックリテラシー科目)、インターンシップ科目および外国語科目とする。
前項の各科目は各学部・学科の定めるところにより必修科目、選択必修科目、選択科目、任意選択科目および自由科目に分ける。

(学部共通科目・学科科目)

第4条 学部共通科目・学科科目は、各学部・学科の定めるところにより、必修科目、選択必修科目、選択科目、任意選択科目および自由科目に分ける。

第3章 履修単位および履修方法

(卒業の要件)

第5条 本大学を卒業するためには、本大学に4年以上在学し、次の各号に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

- 1 宗教科目 4 単位
- 2 体育科目 2 単位

- 3 「人間の尊厳」科目 4 単位
- 4 テーマ科目 10 単位
- 5 分野科目、情報科目、インターンシップ科目および外国語科目の単位については各学部・学科の定めるところによる。
- 6 学科科目および学部共通科目の単位については各学部・学科の定めるところによる。

外国人留学生の共通教育科目の履修に関しては別に定める。

(単位数計算の基礎)

第6条 各授業科目の単位数計算の基礎は次のとおりである。

- 1 講義による科目および演習は、毎週 1 時間 15 週をもって 1 単位とする。
- 2 外国語科目、体育科目は、毎週 2 時間 15 週をもって 1 単位とする。
- 3 実習、実験、音楽実技および美術実技は、毎週 3 時間 15 週をもって 1 単位とする。ただし、一時間の授業に対して教室外における 2 時間の準備のための学修を必要とする場合は、毎週 1 時間 15 週をもって 1 単位とする。

(自由科目の修得単位)

第7条 第3条第2項および第4条に定める自由科目の修得単位は、第5条第1項の卒業に必要な単位数のうちに算入しない。

(授業科目の履修年次)

第8条 共通教育科目の履修年次は、共通教育科目履修要項に従い、また学部共通科目および学科科目については各学部・学科の定める年次にそれぞれ履修しなければならない。

第9条 (削除)

(教職、博物館、司書および司書教諭に関する科目)

第10条 教育職員免許状取得資格、博物館学芸員の資格、司書の資格および司書教諭の資格を得ようとするものは、当該授業科目履修要項に従って授業科目を履修しなければならない。

第4章 履 修 登 録

(履修登録の手続)

第11条 単位を修得するためには、各学部・学科の定めるところに従い次の各号の登録手続を行わなければならない。

- 1 「履修登録カード」の必要事項をマークして提出すること。
- 2 前号に定める履修登録カードに基づいて作成された「授業科目登録表」を受け取ること。
- 3 前号に定める授業科目登録表を確認した上で「登録確認書」を提出すること。

派遣留学生の履修登録は、「派遣留学生の帰国後における授業科目履修に関する手続等取扱要領」によるものとする。

（履修登録の無効）

第12条 同一時限に授業が行われる複数の授業科目を重複して登録してはならない。重複登録を行った場合には、いずれの授業科目の登録も無効とする。

（履修登録単位数の上限）

第13条 1年間に登録できる単位数の上限は、各学部・学科の定めるところによる。

（履修登録の期間）

第14条 履修登録は、本大学の定める期間中に行わなければならない。ただし、病気、休学などやむを得ない理由により所定期間中に履修登録が不可能な場合は、直ちにその旨を名古屋キャンパスの学生は学務部教務課、瀬戸キャンパスの学生は学務係に届け出て指示を受けなければならない。学務部教務課または学務係に届け出ることなく履修登録を行わなかった場合は、特別の理由のない限り、その年度の履修登録を認めない。

（履修登録変更）

第15条 履修登録後は、所定の期間に限り、履修登録の変更を認める。それ以外の期間については特別の理由のない限り履修登録の変更は認めない。

第5章 出 欠 席

（欠席時数の限度）

第16条 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えるときの、当該授業科目の成績評価について共通教育科目は共通教育委員会、学部共通科目および学科科目は各学

部・学科の定めるところによる。

15分以上の遅刻または早退は、欠席とみなす。また、15分以内の遅刻または早退は、3回をもって1回の欠席とみなす。

第6章 履修成績および単位の授与

(単位の授与)

第17条 授業科目を履修した者に対しては、原則として、試験の上成績を判定し単位を与える。

(履修成績の判定)

第18条 履修成績は、「南山大学試験規程」により実施される定期試験または追試験・再試験の成績と平常の成績を考慮して定める。

(履修成績評価の基準)

第19条 履修成績の評価は次のように表す。合格の成績にはそれぞれの授業科目に関し所定の単位を与えるが、不合格の成績には単位を与えない。

優	A+ (100点~90点) A (89点~80点)	} 合格
良		
可	B (79点~70点) C (69点~60点)	
不可	F (59点~0点)	
		不合格

ただし、かっこ内の点数は評価を100点満点の場合の得点として示したものである。

前項の定めにかかわらず履修成績の評価は、次のように表すことができる。

P (Pass)	合格
F (Failure)	不合格

本条第1項および第2項の履修成績F(不合格)以外に、次の各号のいずれかに該当する場合は、不合格とする。

1 試験欠席(『南山大学試験規程』により実施される定期試験、追試験、再試験またはそれらに準ずる試験に欠席した場合、X)

2 欠席過多(授業の欠席過多により当該授業科目の成績評価が不合格と判定された場合、S)

第20条（削除）

（履修成績評価の疑問調査）

第21条 第19条における成績評価または不合格に対して疑問がある場合は疑問調査を願い出ることができる。

疑問調査は、成績発表後1週間以内に名古屋キャンパスの学生は学務部教務課、瀬戸キャンパスの学生は学務係に願い出るものとする。

（試験における不正行為）

第22条 試験において不正行為があった場合は、その学生の当該年度の履修科目の一部または全部の単位を与えない。

第7章 既修得単位等の認定

（他の大学または短期大学における修得単位）

第23条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

学生が外国の大学に留学する場合には、前項の規定を準用する。

学生が外国の大学において授業科目を履修し、制度上当該大学より単位を授与されない場合は、教授会の定めるところにより、本大学の単位を修得したものと認定することができる。

（大学以外の教育施設等における学修）

第23条の2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学または高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、教授会の定めるところにより単位を与えることができる。

前項により与えることができる単位数は、前条により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

本条に関する取扱いは、別に定める。

（編入学者および転入学者の既修得単位）

第24条 本大学を卒業し、改めて本大学に編入学した場合は、

既修得単位の一部を入学後に修得したものと認定することができる。

学生が他の大学（外国の大学も含む）を卒業または中途退学し、本大学に編入学または転入学した場合には、既修得単位の全部または一部を入学後に修得したものと認定することができる。ただし、単位の認定にあたっては教授会の定めるところによって試験を課すことがある。

本条に関する細則は別に定める。

（入学前の既修得単位等の認定）

第25条 本大学は、教育上有益と認めるときは、次の各号に定める単位を、教授会の定めるところにより、入学後に修得したものと認定することができる。

- 1 本大学を卒業または中途退学し、新たに本大学の1年次に入学した学生が入学前に修得した単位。
- 2 他の大学または短期大学を卒業または中途退学し、新たに本大学の1年次に入学した学生が入学前に修得した単位。ただし、単位の認定にあたっては教授会の定めるところにより試験を課すことがある。
- 3 学生が入学する前に行った第23条の2第1項に規定する学修。

前項の各号により与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第23条および第23条の2第1項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

本条に関する細則は、別に定める。

（再入学者および転部・転科者の既修得単位）

第26条 再入学を許可された者の既修得単位は、入学後も引き続き有効とする。

転部・転科を許可された者の既修得単位は、転部・転科後も引き続き有効とする。

前項に関する細則は別に定める。

第8章 退 学

(修得単位不足等による退学)

第27条 在学7ヵ年(休学期間は算入しない)におよび、なお卒業に必要な単位を修得しない者、その他成業の見込みのない者には退学を命ずる。

入学後1年を経過してもなお修得単位数が16単位未満、2年を経過しても32単位未満、3年を経過しても48単位未満等の場合には、退学を命ずることがある。ただし、病気その他重大な事由による場合はこの限りでない。

正当の理由がなくて引き続き長期欠席した者には退学を命ずることがある。

附 則

(施行期日) この規程は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、平成11年度までの入学生については従来どおりする。

附 則

この規程の改正は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成15年4月1日から施行する。

共通教育科目履修要項

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えるときの履修成績評価は、欠席過多（S）による不合格とする。

A 宗教科目履修要項

1. 卒業のためには、宗教科目を4単位履修しなければならない。
2. 宗教科目は次のとおりである。（カッコ内の数字は単位数）
必修
宗 教 論（2） 1年次
キリスト教概論（2） 2年次（ただし、キリスト
教学科については1年次必修）

B 「人間の尊厳」科目履修要項

1. 卒業のためには、2科目4単位履修しなければならない。
2. 「人間の尊厳」科目は次のとおりである。（カッコ内の数字は単位数）
選択必修
宗教に見る人間の尊厳（2） 哲学・倫理学における人間の尊厳（2）
思想史に学ぶ人間の尊厳（2） 政治・経済と人間の尊厳（2）
法と人間の尊厳（2） 性と生命における人間の尊厳（2）
教育・文化における人間の尊厳（2） 民族問題と人間の尊厳（2）
3. 履修年次は2・3・4年次とする。
4. 超過して修得した単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
5. 同一年度に登録できるのは、原則として2科目までとする。

C 外国語科目履修要項

1. 外国語科目の卒業のための要件は、各学部・学科の定めるところによる。
2. 外国語科目は次のとおりである。
（1）外国語科目の履修年次及び履修方法

英語

- (1) 履修年次
(1年次春学期) (1年次秋学期) (2年次春学期)
(2年次秋学期)とする。
- (2) 履修方法
- 、、、はこの順番で履修しなければならない。
 - 再履修者に限り、と、を同時に履修できる。

フランス語

- (1) 履修年次
(1年次春学期) (1年次秋学期)を原則とする。
、以外は履修年次を指定しないが、、は初級、
は中級である。
- (2) 履修方法
- 1年次生は、、文法・講読と、会話・作文を同時に履修しなければならない。
 - 、と、を同時に履修できる。
 - 、は順番に履修しなくてもよい。

ドイツ語

- (1) 履修年次
(1年次春学期) (1年次秋学期)を原則とする。
- (2) 履修方法
- 1年次生は、、文法・講読と、会話・作文を同時に履修しなければならない。
 - 、と、を同時に履修できる。
 - 、は順番に履修しなくてもよい。
 - 、以外はペアで履修しなくてもよい。

スペイン語・ポルトガル語

- (1) 履修年次
(1年次春学期) (1年次秋学期) (2年次春学期)
(2年次秋学期)とする。

(2) 履修方法

- a. 1年次生は、、 文法・講読と 、 会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. 、 と 、 を同時に履修できる。
- c. 、 は順番に履修しなければならない。
- d. と 、 と はペアで履修しなければならない。

中国語

(1) 履修年次

(1年次春学期) (1年次秋学期)とする。、 は2年次以降の履修とする。

(2) 履修方法

- a. 1年次生は、、 語法と 、 会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. 、 と 、 を同時に履修できる。
- c. 、 は順番に履修しなくてもよい。

韓国朝鮮語

(1) 履修年次

(1年次春学期) (1年次秋学期)とする。

(2) 履修方法

1年次生は、、 文法・講読と 、 会話・作文を同時に履修しなければならない。

インドネシア語

(1) 履修年次

(1年次春学期) (1年次秋学期)とする。

(2) 履修方法

1年次生は、、 文法・講読と 、 会話・作文を同時に履修しなければならない。

ラテン語

(1) 履修年次

(1年次春学期) (1年次秋学期) (2年次春学期)

(2年次秋学期)とする。

ただし、再履修者等には、秋学期に 、春学期に を履修できる科目を2002年度より新規開設する。

(2) 履修方法

- a. 1年次は と 、 と の同時履修はできない。
- b. 、 と 、 はそれぞれ順番に履修しなければならない。
- c. と 、 と はそれぞれペアで履修しなければならない。

ギリシャ語

(1) 履修年次

各年次履修できる。

(2) 履修方法

- a. と とは順番に履修しなければならない。

日本語

日本語の履修は、別に定める「外国人留学生の授業科目履修に関する特例」によるので、参照のこと。

(2) 外国語科目

必修外国語

(かっこ内の数字は単位数)

学 科	1 年 次 生		2 年 次 生	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
キリスト教学科(4)	ラテン語 文法(1) ラテン語 講読(1)	ラテン語 文法(1) ラテン語 講読(1)		
人間文化学科(4) 心理人間学科 日本文化学科	英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)		
英米学科(8)	英語 初級・中級A(3) 英語 リーディング(1)	英語 初級・中級A(3) 英語 リーディング(1)		
スペイン・ ラテンアメリカ 学科(14)	基礎スペイン語 文法(2) 基礎スペイン語 講読(1) 基礎スペイン語 作文(1) 英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	基礎スペイン語 文法(2) 基礎スペイン語 講読(1) 基礎スペイン語 作文(1) 英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級・中級A/B(1)	英語 初級・中級A/B(1)
フランス学科 (14)	基礎フランス語 A(1) 基礎フランス語 B(1) 基礎フランス語 C(1) 基礎フランス語 D(1) 英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	基礎フランス語 A(1) 基礎フランス語 B(1) 基礎フランス語 C(1) 基礎フランス語 D(1) 英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級・中級A/B(1)	英語 初級・中級A/B(1)
ドイツ学科 (14)	基礎ドイツ語 文法(1) 基礎ドイツ語 文法(1) 基礎ドイツ語 文法(1) 基礎ドイツ語 講読(1) 基礎ドイツ語 講読(1) 英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	基礎ドイツ語 文法(1) 基礎ドイツ語 文法(1) 基礎ドイツ語 文法(1) 基礎ドイツ語 講読(1) 基礎ドイツ語 講読(1) 英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級・中級A/B(1)	英語 初級・中級A/B(1)
アジア学科 (18)	中国語 語法(1) 中国語 会話・作文(1) 中国語 文法・講読(1) 中国語 会話・作文(1) 英語 初級・中級A/B(1)	中国語 語法(1) 中国語 会話・作文(1) 中国語 文法・講読(1) 中国語 会話・作文(1) 英語 初級・中級A/B(1)	中国語 語法(1) 中国語 会話・作文(1)	中国語 語法(1) 中国語 会話・作文(1)
経済学科(8)	英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級・中級A/B(1) 英語 音声表現(1)	英語 初級・中級A/B(1) 英語 ライティング(1)
経営学科(8)	英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級・中級A/B(1) 英語 ライティング(1)	英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級・中級A/B(1) 英語 ライティング(1)
法律学科(4)	英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級・中級A/B(1) 英語 リーディング(1)		

学 科	1 年 次 生		2 年 次 生	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
経済学科(4)	* 1 カ国語を選択して4単位修得。			
	フランス語 文法・講読(1)	フランス語 文法・講読(1)		
	フランス語 会話・作文(1)	フランス語 会話・作文(1)		
	ドイツ語 文法・講読(1)	ドイツ語 文法・講読(1)		
	ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 会話・作文(1)		
	スペイン語 文法・講読(1)	スペイン語 文法・講読(1)		
	スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)		
	ポルトガル語 文法・講読(1)	ポルトガル語 文法・講読(1)		
	ポルトガル語 会話・作文(1)	ポルトガル語 会話・作文(1)		
	中国語 語法(1)	中国語 語法(1)		
	中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)		
	韓国朝鮮語 文法・講読(1)	韓国朝鮮語 文法・講読(1)		
	韓国朝鮮語 会話・作文(1)	韓国朝鮮語 会話・作文(1)		
	インドネシア語 文法・講読(1)	インドネシア語 文法・講読(1)		
	インドネシア語 会話・作文(1)	インドネシア語 会話・作文(1)		
	ラテン語 文法(1)	ラテン語 文法(1)		
	ラテン語 講読(1)	ラテン語 講読(1)		
ギリシャ語 文法(1)	ギリシャ語 文法(1)			
ギリシャ語 講読(1)	ギリシャ語 講読(1)			
経営学科(4)	* 1 カ国語4単位を修得。			
	英語 音声表現(1)	英語 音声表現(1)	英語 総合(1)	英語 リーディング(1)
	英語 総合(1)	英語 総合(1)		英語 総合(1)
			3年次生	
			英語 リーディング(1)	
	フランス語 文法・講読(1)	フランス語 文法・講読(1)		
	フランス語 会話・作文(1)	フランス語 会話・作文(1)		
	ドイツ語 文法・講読(1)	ドイツ語 文法・講読(1)		
	ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 会話・作文(1)		
	スペイン語 文法・講読(1)	スペイン語 文法・講読(1)		
	スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)		
	ポルトガル語 文法・講読(1)	ポルトガル語 文法・講読(1)		
	ポルトガル語 会話・作文(1)	ポルトガル語 会話・作文(1)		
	中国語 語法(1)	中国語 語法(1)		
	中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)		
	韓国朝鮮語 文法・講読(1)	韓国朝鮮語 文法・講読(1)		
	韓国朝鮮語 会話・作文(1)	韓国朝鮮語 会話・作文(1)		
インドネシア語 文法・講読(1)	インドネシア語 文法・講読(1)			
インドネシア語 会話・作文(1)	インドネシア語 会話・作文(1)			
ラテン語 文法(1)	ラテン語 文法(1)			
ラテン語 講読(1)	ラテン語 講読(1)			
ギリシャ語 文法(1)	ギリシャ語 文法(1)			
ギリシャ語 講読(1)	ギリシャ語 講読(1)			
法律学科(4)	* 1 カ国語4単位を修得。			
	英語 ライティング(1)	英語 ライティング(1)	英語 外国語能力検定試験(B)(1)	英語 外国語能力検定試験(B)(1)
	英語 音声表現(1)	英語 音声表現(1)	英語 リーディング(1)	英語 リーディング(1)
	英語 総合(1)	英語 総合(1)	英語 総合(1)	英語 総合(1)
	フランス語 文法・講読(1)	フランス語 文法・講読(1)	フランス語 文法・講読(1)	フランス語 文法・講読(1)
	フランス語 会話・作文(1)	フランス語 会話・作文(1)	フランス語 会話・作文(1)	フランス語 会話・作文(1)
	ドイツ語 文法・講読(1)	ドイツ語 文法・講読(1)	ドイツ語 文法・講読(1)	ドイツ語 文法・講読(1)
	ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 会話・作文(1)
	スペイン語 文法・講読(1)	スペイン語 文法・講読(1)	スペイン語 文法・講読(1)	スペイン語 文法・講読(1)
	スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)
	ポルトガル語 文法・講読(1)	ポルトガル語 文法・講読(1)		
	ポルトガル語 会話・作文(1)	ポルトガル語 会話・作文(1)		
	中国語 語法(1)	中国語 語法(1)	中国語 語法(1)	中国語 語法(1)
	中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)
	韓国朝鮮語 文法・講読(1)	韓国朝鮮語 文法・講読(1)		
	韓国朝鮮語 会話・作文(1)	韓国朝鮮語 会話・作文(1)		

(3) 各学部・学科の外国語科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)

英語

英語	ホリスティックA(3)	英語	ホリスティックA(3)
英語	ホリスティックB(1)	英語	ホリスティックB(1)
英語	ホリスティックB(1)	英語	ホリスティックB(1)
英語	リーディング (1)	英語	リーディング (1)
英語	リーディング (1)	英語	リーディング (1)
英語	ライティング (1)	英語	ライティング (1)
英語	音声表現 (1)	英語	音声表現 (1)
英語	総合 (1)	英語	総合 (1)
英語	総合 (1)	英語	総合 (1)

フランス語

フランス語	文法・講読(1)	フランス語	文法・講読(1)
フランス語	文法・講読(1)	フランス語	文法・講読(1)
フランス語	会話・作文(1)	フランス語	会話・作文(1)
フランス語	会話・作文(1)	フランス語	会話・作文(1)
基礎フランス語	A (1)	基礎フランス語	A (1)
基礎フランス語	B (1)	基礎フランス語	B (1)
基礎フランス語	C (1)	基礎フランス語	C (1)
基礎フランス語	D (1)	基礎フランス語	D (1)

ドイツ語

ドイツ語	文法・講読(1)	ドイツ語	文法・講読(1)
ドイツ語	文法・講読(1)	ドイツ語	文法・講読(1)
ドイツ語	会話・作文(1)	ドイツ語	会話・作文(1)
ドイツ語	会話・作文(1)	ドイツ語	会話・作文(1)
基礎ドイツ語	文法 (1)	基礎ドイツ語	文法 (1)
基礎ドイツ語	コミュニケーション(2)	基礎ドイツ語	コミュニケーション(2)
基礎ドイツ語	講読 (1)	基礎ドイツ語	講読 (1)

スペイン語

スペイン語	文法・講読(1)	スペイン語	文法・講読(1)
スペイン語	文法・講読(1)	スペイン語	文法・講読(1)

スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)
スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)
基礎スペイン語 文法(2)	基礎スペイン語 文法(2)
基礎スペイン語 講読(1)	基礎スペイン語 講読(1)
基礎スペイン語 作文(1)	基礎スペイン語 作文(1)

ポルトガル語

ポルトガル語 文法・講読(1)	ポルトガル語 文法・講読(1)
ポルトガル語 会話・作文(1)	ポルトガル語 会話・作文(1)

中国語

中国語 語法 (1)	中国語 語法 (1)
中国語 語法 (1)	中国語 語法 (1)
中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)
中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)

韓国朝鮮語

韓国朝鮮語 文法・講読(1)	韓国朝鮮語 文法・講読(1)
韓国朝鮮語 会話・作文(1)	韓国朝鮮語 会話・作文(1)

インドネシア語

インドネシア語 文法・講読(1)	インドネシア語 文法・講読(1)
インドネシア語 会話・作文(1)	インドネシア語 会話・作文(1)

ラテン語

ラテン語 文法 (1)	ラテン語 文法 (1)
ラテン語 文法 (1)	ラテン語 文法 (1)
ラテン語 講読 (1)	ラテン語 講読 (1)
ラテン語 講読 (1)	ラテン語 講読 (1)

ギリシャ語

ギリシャ語 文法 (1)	ギリシャ語 文法 (1)
ギリシャ語 講読 (1)	ギリシャ語 講読 (1)

日本語

日本語	(3)	日本語	(2)
日本語	(3)		
総合日本語 A	(2)	総合日本語 B	(2)

3. 選択必修科目として必要な単位数を超過して修得した単位数及び選択必修科目以外の外国語科目の単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

D 体育科目履修要項

1. 卒業のためには、体育科目を2単位履修しなければならない。
2. 体育科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数) 必修

基礎体育 A (1) 1年次(春学期)

基礎体育 B (1) 1年次(秋学期)

選択

スポーツ実技(個人スポーツ)(1) スポーツ実技(集団スポーツ)(1)

スポーツ実技(アウトドアスポーツ)(1) スポーツ実技(健康スポーツ)(1)

スポーツ実技(生涯スポーツ)(1) スポーツ実技(フィットネス)(1)

3. 基礎体育 A (春学期)、基礎体育 B (秋学期)ともに、各学期の第1週に履修方法についてのガイダンスを実施し、コースの選択をおこなう。
4. スポーツ実技の履修年次は、2・3・4年次とする。
5. スポーツ実技は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
6. 体育科目については、欠席時数が授業予定総時数の20%を越える場合、「欠席過多(S)」による不合格とする。

E テーマ科目履修要項

1. 卒業のためには、テーマ科目を10単位履修しなければならない。

2. テーマ科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)

選択必修

「異文化との出会い」(2)

文化の比較	異文化との接触
異文化の理解	日本との出会い
アジアとの出会い	イスラムとの出会い
ヨーロッパとの出会い	南北アメリカとの出会い

「生命と環境」(2)

生命と倫理問題	環境と倫理問題
人間と環境	生活環境と物質
自然環境と生物	生命観と環境観の変遷
社会システムと環境	生命と法律問題

「知識・言語と情報社会」(2)

こころとは	ことばとは
知識の探求	プライバシーと倫理
人間と機械	文化と情報
情報社会の構造	情報を読む

「モダンの系譜」(2)

思想・文化をめぐって	芸術をめぐって
歴史の諸相	文学をめぐって
社会の諸相	科学の諸相
人権をめぐって	政治・経済の諸相

(1) 履修年次は、1・2・3・4年次とする。

(2) 「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」の4つの中から1テーマを選択しその中で5科目以上履修するか、又は2テーマを選択する場合は、1テーマから2科目以上履修し、計5科目以上履修すること。

3. 超過して修得した単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

F 分野科目履修要項

1. 分野科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。
2. 分野科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)

選択

哲学A	(2)	哲学B	(2)
文学A	(2)	文学B	(2)
考古学A	(2)	考古学B	(2)
日本史A	(2)	日本史B	(2)
東洋史A	(2)	東洋史B	(2)
西洋史A	(2)	西洋史B	(2)
美術A	(2)	美術B	(2)
音楽A	(2)	音楽B	(2)
倫理学	(2)	人文地理学	(2)
自然地理学	(2)	地誌概論	(2)
世界史	(2)		
法学A	(2)	法学B	(2)
日本国憲法	(2)		
政治学A	(2)	政治学B	(2)
文化人類学A	(2)	文化人類学B	(2)
社会学A	(2)	社会学B	(2)
経済学A	(2)	経済学B	(2)
数学A	(2)	数学B	(2)
物理学A	(2)	物理学B	(2)
生命自然史	(2)	生命科学	(2)
基礎生物学セミナーA	(4)	基礎生物学セミナーB	(4)
化学	(2)	化学	(2)
心理学A	(2)	心理学B	(2)
科学技術論A	(2)	科学技術論B	(2)
地球科学A	(2)	地球科学B	(2)
スポーツ科学論	(2)	健康科学論	(2)
スポーツ科学演習A	(2)	スポーツ科学演習B	(2)

(1) 履修年次は、1・2・3・4年次とする。

3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

G 情報科目履修要項

1. 情報科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。

2. 情報科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)
選択

情報リテラシー (2)

(1) 履修年次は、1・2年次とする。

3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
4. 情報リテラシーは、人文学部・外国語学部・法学部の学生に限って登録ができる。
5. 情報リテラシーは、自由科目(卒業必要単位に算入されない科目)として履修することはできない。

H インターンシップ科目履修要項

1. インターンシップ科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。
2. インターンシップ科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)

選択

インターンシップ研修 (2)

(1) 履修年次は、3年次とする。

3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
4. インターンシップ研修は、自由科目(卒業必要単位に算入されない科目)として履修することはできない。

人文学部履修要項

1. 人文学部生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目8単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得しなければならない。
2. 共通教育科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める（「共通教育科目履修要項」および「各学科履修要項の 」を参照のこと）。
3. 学科科目は必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める（「各学科履修要項の ならびに 」を参照のこと）。
4. それぞれの科目の履修年次については別に定める（「共通教育科目履修要項」および「各学科履修要項」を参照のこと）。
5. 人文学部生は、下記の科目を卒業に必要な単位として算入することができる。
 - (1) 共通教育科目、学部共通科目、所属する学科の学科科目のうち、必要単位を越えて履修した選択必修科目ならびに選択科目。
 - (2) 他学科の学科科目（他学科生履修不可の科目を除く）。
 - (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部、他学科生履修不可の科目を除く）。ただし、その際の履修年次は、当該学部・学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。
6. 人文学部生は「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」および「司書・司書教諭に関する科目」を自由科目として履修することができる。ただし、自由科目は卒業に必要な単位には算入されない。
7. 人文学部生が学期ごとに登録を許される総単位数は自由科目を除き、24単位とする。ただし、学期をまたがる通年科目の単位数については、学期ごとにその単位数の2分の1と算定する。なお、自由科目については、学期ごとの登録

単位数の制限を設けない。

- 8 . 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。

キリスト教学科履修要項 ()内は単位数

キリスト教学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目 8 単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

・ 共通教育科目 (32)

キリスト教学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第 1 年次

宗 教 論 (2) キリスト教概論 (2)
基礎体育 A (2) 基礎体育 B (2)

選択必修科目 (14)

第 1 年次以降

次のテーマ科目の中から、1 テーマを選択して5科目10単位修得。または2 テーマを選択して5 科目10単位修得すること。(ただし、1 テーマは2 科目以上)

「異文化との出会い」 「生命と環境」
「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第 2 年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

キリスト教学科学生は、ラテン語を含み2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得すること。なお、選択必修外国語科目については、1ないし2カ国語8単位(ただし、1言語4単位以上)を修得すること。

必修外国語科目 (4)

第 1 年次

ラテン語 文法 (1) ラテン語 文法 (1)
ラテン語 講読 (1) ラテン語 講読 (1)

選択必修外国語科目 (8)

第 1 年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。

人文学部 キリスト教学科

選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「任意選択科目」の項を参照のこと。

・学部共通科目（8）

キリスト教学科生は、学部共通科目として、以下の科目から4科目8単位以上を修得すること。

選択科目（8）

第2年次秋学期以降

キリスト教学入門（2） キリスト教文化入門（2）

他者と自己（2） コミュニケーションと言語（2）

自己と社会（2） パラダイム論（2）

キャリア発達論と自己理解（2） 日本語の多様性（2）

現代日本社会論（2） 現代日本社会論（2）
（自己発見と自己成長） （問題発見と問題解決）

宗教学概論（2） ジェンダー論（2）

福祉論（2） 青少年問題論（2）

子ども・学校論（2） 情報組織化論（2）

視聴覚メディア論（2） 生涯学習論（2）

・学科科目（68）

キリスト教学科生は、必修科目を24単位、選択必修科目を16単位以上、選択科目を28単位以上、合計68単位以上を修得すること。

必修科目（24）

第1年次（8）

旧約聖書入門（2） 新約聖書入門（2）

キリスト教学基礎演習（2） キリスト教学基礎演習（2）

第2年次(4)

キリスト教学基礎演習 (2) キリスト教学基礎演習 (2)

第3年次(4)

キリスト教学演習 (2) キリスト教学演習 (2)

第4年次(8)

キリスト教学演習 (2) キリスト教学演習 (2)

研究プロジェクト(4)

なお、「研究プロジェクト」を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択必修科目(16)

第2年次以降

以下の科目から、旧約聖書学から2単位、新約聖書学から2単位、組織神学から4単位、倫理神学から2単位、哲学関係から4単位、宗教学関係から2単位をそれぞれ修得すること。なお、所定の単位数を超過して修得した選択必修科目は、選択科目に算入される。

【旧約聖書学】(2)

旧約聖書学(モーセ五書A)(2) 旧約聖書学(モーセ五書B)(2)

旧約聖書学(預言書A)(2) 旧約聖書学(預言書B)(2)

【新約聖書学】(2)

新約聖書学(福音書・使徒言行録A)(2)

新約聖書学(福音書・使徒言行録B)(2)

新約聖書学(書簡A)(2) 新約聖書学(書簡B)(2)

【組織神学】(4)

組織神学(キリスト論A)(2) 組織神学(神学的人間論A)(2)

組織神学(終末論)(2) 組織神学(秘跡総論)(2)

組織神学(三位一体論)(2)

【倫理神学】(2)

キリスト教倫理学(基礎論A)(2) キリスト教倫理学(基礎論B)(2)

キリスト教倫理学(各論A)(2) キリスト教倫理学(各論B)(2)

【哲学関係】(4)

中世哲学史(2) 中世哲学史(2)

東方キリスト教思想A(2) 東方キリスト教思想B(2)

西方キリスト教思想A(2) 西方キリスト教思想B(2)

人文学部 キリスト教学科

【宗教学関係】(2)

宗 教 学 (2)	宗 教 社 会 学 (2)
宗 教 史 (2)	宗 教 史 (2)
宗 教 思 想 A (2)	宗 教 思 想 B (2)

選択科目 (28)

第1年次以降

旧約・新約時代史 (2)	新約聖書特殊講義 (2)
古代哲学史 (2)	古代哲学史 (2)
キリスト教芸術A(イコン) (2)	キリスト教芸術B(典礼音楽) (2)
認 識 論 (2)	自 然 神 学 (2)

第2年次以降

近世・現代哲学史 (2)	近世・現代哲学史 (2)
組織神学(キリスト論B) (2)	組織神学(神学の間論B) (2)
組織神学(神学の間論C) (2)	組織神学(秘跡各論) (2)
基礎神学(啓示論) (2)	基礎神学(教会論) (2)
キリスト教史(古代教会史) (2)	キリスト教史(中世教会史) (2)
キリスト教史(近世教会史) (2)	キリスト教史(現代教会史) (2)
日本キリスト教史 (2)	アジアとキリスト教 (2)
初期キリスト教思想史A(教父学A) (2)	
初期キリスト教思想史B(教父学B) (2)	
聖書ギリシャ語(初級) (2)	聖書ギリシャ語(初級) (2)
聖書ヘブライ語(初級) (2)	聖書ヘブライ語(初級) (2)

第3年次以降

聖書ギリシャ語(中級) (2)	聖書ギリシャ語(中級) (2)
聖書ヘブライ語(中級) (2)	聖書ヘブライ語(中級) (2)
カウンセリング指導法A (2)	カウンセリング指導法B (2)
典礼学(総論) (2)	典礼学(総論) (2)
典礼学(各論) (2)	典礼学(各論) (2)
実践神学(説教学総論) (2)	実践神学(説教学実践) (2)
司 牧 神 学 (2)	宣 教 学 (2)
教会法(入門) (2)	教会法(基本法) (2)
教会法(秘跡法) (2)	教会法(制裁・訴訟法) (2)

任意選択科目 (20)

キリスト教学科学生は、任意選択科目として20単位以上

を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (3) キリスト教学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (4) 他学部・他学科科目（他学部・他学科履修不可科目を除く）
（なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない。）

人文学部 キリスト教学科

人文学部キリスト教学科カリキュラム表

【人文学部 キリスト教学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		32単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学部 共通 科目	選 択				8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
学 科 目	必修科目を24単位、選択必修科目を16単位以上、選択科目を28単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。					
	必修	24単位修得しなければならない。 旧約聖書入門(2) キリスト教学基礎演習(2) キリスト教学演習(2) キリスト教学演習(2) 新約聖書入門(2) キリスト教学基礎演習(2) キリスト教学演習(2) キリスト教学演習(2) キリスト教学基礎演習(2) キリスト教学基礎演習(2) 研究プロジェクト(4)				
	選択必修	16単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
	選 択	28単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目 (2)人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目 (3)キリスト教学科目で所定の単位数を超過して修得した科目 (4)他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)				

卒業に必要な単位数

人文学部キリスト教学科

総単位数 128

共通教育科 32

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(1年次)

体育科目

基礎体育 A 1(1年次)

基礎体育 B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2~4年次)

選択必修科目 10

テーマ科目 10

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、文化人類学A、
文化人類学B、社会学A、社会学B、
経済学A、経済学B、数学A、数学B、
物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、
化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、
科学技術論B、地球科学A、地球科学B、
スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

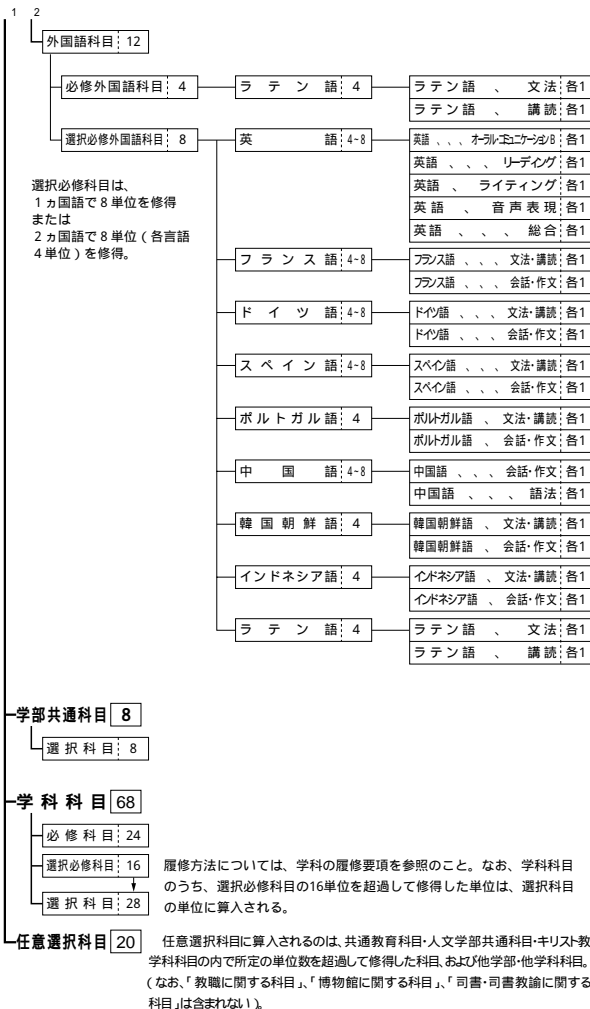
情報科目

情報リテラシー 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

人文学部 キリスト教学科



人類文化学科履修要項 ()内は単位数

人類文化学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目 8 単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

I . 共通教育科目 (32)

人類文化学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第1年次

宗 教 論 (2)

基礎体育 A (1) 基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得。または、2テーマを選択して5科目10単位修得すること。(ただし、1テーマは2科目以上)

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

人類文化学科学生は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得すること。

なお、選択必修外国語科目については、1ないし2カ国語8単位(ただし、英語以外は1言語4単位以上)を修得すること。

必修外国語科目 (4)

第1年次

英語 オールコミュニケーションB (1)

英語 オールコミュニケーションB (1)

人文学部 人類文化学科

英語 リーディング (1) 英語 リーディング (1)
選択必修外国語科目 (8)

第 1 年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。
選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名
は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、
中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ
科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履
修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として
卒業に必要な単位に算入される。「 . 任意選択科目」
の項を参照のこと。

. 学部共通科目 (8)

人類文化学科学生は、学部共通科目として、選択科目8
単位以上を修得すること。

選択科目 (8)

第 2 年次秋学期以降

次の科目の中から、4 科目 8 単位以上を修得すること。

キリスト教学入門 (2) キリスト教文化入門 (2)

他 者 と 自 己 (2) コミュニケーションと言語 (2)

自 己 と 社 会 (2) パラダイム論 (2)

キャリア発達論と自己理解 (2) 日本語の多様性 (2)

現代日本社会論 (2) 現代日本社会論 (2)
(自己発見と自己成長) (問題発見と問題解決)

宗 教 学 概 論 (2) ジェンダー論 (2)

福 祉 論 (2) 青少年問題論 (2)

子ども・学校論 (2) 情報組織化論 (2)

視聴覚メディア論 (2) 生涯学習論 (2)

. 学科科目 (68)

人類文化学科学生は、必修科目を24単位、選択必修科目
を 8 単位以上、選択科目を36単位以上、合計68単位以上

を修得すること。

必修科目（24）

第1年次

人類文化学基礎演習（2） 人類文化学基礎演習（2）

人類文化学基礎論A（2） 人類文化学基礎論B（2）

第2年次

人類文化学基礎演習（2） 人類文化学基礎演習（2）

第3年次

人類文化学演習（2） 人類文化学演習（2）

第4年次

人類文化学演習（2） 人類文化学演習（2）

研究プロジェクト（4）

なお、「研究プロジェクト」を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択必修科目（8）

第1～2年次

次の科目の中から、4科目8単位以上を修得すること。
なお所定の単位数を超過して修得した選択必修科目は、選択科目に算入される。

言語学概論A（2） 言語学概論B（2）

哲学概論A（2） 哲学概論B（2）

文化人類学概論A（2） 文化人類学概論B（2）

考古学概論A（2） 考古学概論B（2）

選択科目（36）

次の科目の中から、36単位以上を修得すること。

第2年次以降

現代の言語学A（2） 現代の言語学B（2）

現代の哲学A（2） 現代の哲学B（2）

現代の文化人類学A（2） 現代の文化人類学B（2）

現代の考古学A（2） 現代の考古学B（2）

統語論（2） 言語分析（2）

意味論（2） 社会言語学（2）

日本語音韻論（2） 論理学（2）

記号論（2） 認識の枠組み（2）

人文学部 人類文化学科

知識と社会 (2)	
科学文化論 A (2)	科学文化論 B (2)
古代哲学史 (2)	古代哲学史 (2)
中世哲学史 (2)	中世哲学史 (2)
近世哲学史 (2)	近世哲学史 (2)
自然人類学 (2)	宗教人類学 (2)
社会人類学 (2)	
東アジア考古学 A (2)	東アジア考古学 B (2)
文化史 A (2)	文化史 B (2)
文化史 C (2)	
地域の文化と歴史 (2) (環太平洋 A)	地域の文化と歴史 (2) (環太平洋 B)
地域の文化と歴史 (2) (アジア A)	地域の文化と歴史 (2) (アジア B)
地域の文化と歴史 (2) (アジア C)	地域の文化と歴史 (2) (オセアニア)
地域の文化と歴史 (2) (アフリカ)	地域の文化と歴史 (2) (オリエント)
地域の文化と歴史 (2) (アメリカ大陸)	地域の文化と歴史 (2) (日本列島)
フィールドワーク (4) (文化人類学)	フィールドワーク (4) (文化人類学)
考古学実習 (2)	考古学実習 (2)
文献資料講読(日本) (2)	文献資料講読(日本) (2)
文献資料講読(中国) (2)	

第3年次以降

人類文化学特殊講義 (2) (統語分析)	人類文化学特殊講義 (2) (構造と意味)
人類文化学特殊講義 (2) (対照言語学)	人類文化学特殊講義 (2) (心理言語学)
人類文化学特殊講義 (2) (言語哲学)	人類文化学特殊講義 (2) (ドイツ哲学史 A)
人類文化学特殊講義 (2) (ドイツ哲学史 B)	人類文化学特殊講義 (2) (民族誌論)
人類文化学特殊講義 (2) (文化理論)	人類文化学特殊講義 (2) (社会理論)

人類文化学特殊講義（２） （アフリカの社会人類学）	人類文化学特殊講義（２） （北米考古学概論）
人類文化学特殊講義（２） （アジアの社会人類学）	人類文化学特殊講義（２） （中国古代史研究）
人類文化学特殊講義（２） （縄紋文化論）	人類文化学特殊講義（２） （中国的世界の形成）
人類文化学特殊講義（２） （日本文化史Ⅱ）	

・任意選択科目（20）

人類文化学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (3) 人類文化学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (4) 他学部・他学科科目（他学部・他学科履修不可科目を除く）
- （なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない）

人文学部 人類文化学科

人文学部人類文化学科カリキュラム表

【人文学部 人類文化学科】

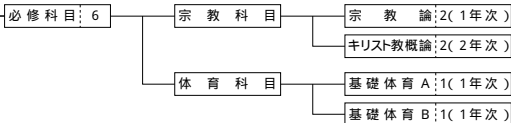
区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部 共通 科目	選 択		8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学 科	必 修	必修科目を24単位、選択必修科目を8単位以上、選択科目を36単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。				
		24単位修得しなければならない。				
		人類文化学基礎演習(2)	人類文化学基礎演習(2)	人類文化学演習(2)	人類文化学演習(2)	人類文化学演習(2)
		人類文化学基礎演習(2)	人類文化学基礎演習(2)	人類文化学演習(2)	人類文化学演習(2)	研究プロジェクト(4)
	選択必修	8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
	選 択	36単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
	任意選択科目	20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目。 (2)人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (3)人類文化学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (4)他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)				

卒業に必要な単位数

人文学部人類文化学科

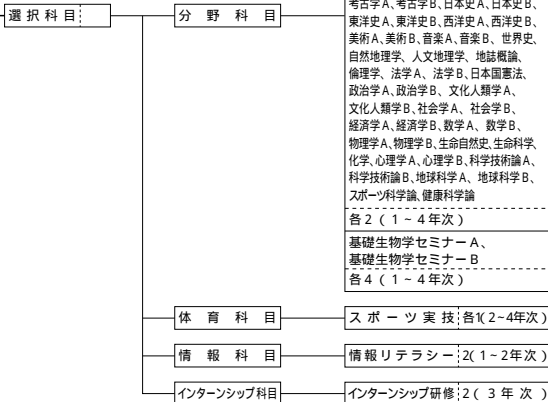
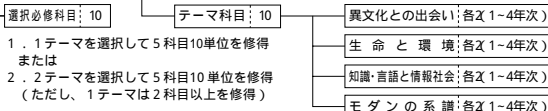
総単位数 128

共通教育科 32



選択必修科目: 14

人間の尊厳科目: 4(2-4年次)



人文学部 人類文化学科

1 2

外国語科目 12

外国語科目は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得。

必修外国語科目 4

英 語 4

英語、オラルコミュニケーション 各1
英語、リーディング 各1

選択必修外国語科目 8

英 語 1-4

英語、ライティング 各1
英語、音声表現 各1
英語、、、総合 各1
英語、オラルコミュニケーション 各1
英語、リーディング 各1

選択必修科目は、1ないし2カ国語で8単位(ただし、英語は1~4単位、英語以外は1言語4単位以上)を修得。

フ ラ ン ス 語 4-8

フランス語、、、文法・講読 各1
フランス語、、、会話・作文 各1

ド イ ツ 語 4-8

ドイツ語、、、文法・講読 各1
ドイツ語、、、会話・作文 各1

ス ペ イ ン 語 4-8

スペイン語、、、文法・講読 各1
スペイン語、、、会話・作文 各1

ポルトガル語 4

ポルトガル語、文法・講読 各1
ポルトガル語、会話・作文 各1

中 国 語 4-8

中国語、、、語法 各1
中国語、、、会話・作文 各1

韓 国 朝 鮮 語 4

韓国朝鮮語、文法・講読 各1
韓国朝鮮語、会話・作文 各1

インドネシア語 4

インドネシア語、文法・講読 各1
インドネシア語、会話・作文 各1

ラ テ ン 語 4-8

ラテン語、、、文法 各1
ラテン語、、、講読 各1

ギ リ シ ャ 語 4

ギリシャ語、文法 各1
ギリシャ語、講読 各1

学部共通科目 8

選択科目 8

学 科 科 目 68

必修科目 24

選択必修科目 8

選択科目 36

履修方法については、学科の履修要項を参照のこと。なお、学科科目のうち、選択必修科目の8単位を超過して修得した単位は、選択科目の単位に算入される。

任意選択科目 20

任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・人文学部共通科目・人類文化学科科目の内です定の単位数を超過して履修した科目、および他学部・他学科科目。(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。

心理人間学科履修要項 ()内は単位数

心理人間学科学学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目 8 単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

I . 共通教育科目 (32)

心理人間学科学学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第1年次

宗 教 論 (2)

基礎体育 A (1) 基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1 テーマを選択して5 科目10単位修得。または、2 テーマを選択して5 科目10単位を修得すること。(ただし、1 テーマは2 科目以上)

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2 科目4 単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

心理人間学科学学生は、2 カ国語以上にわたって、各言語4 単位以上を修得すること。

なお、選択必修外国語科目については、1 ないし2 カ国語8 単位(ただし、英語以外は1 言語4 単位以上)を修得すること。

必修外国語科目 (4)

第1年次

英語 オラクルコミュニケーションB (1)

英語 オラクルコミュニケーションB (1)

人文学部 心理人間学科

英語 リーディング（１） 英語 リーディング（１）
選択必修外国語科目（８）

第１年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。
選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。
英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「 . 任意選択科目」の項を参照のこと。

. 学部共通科目（８）

心理人間学科学学生は、学部共通科目として、選択科目を４科目８単位以上修得すること。

選択科目（８）

第２年次秋学期以降

キリスト教学入門（２）	キリスト教文化入門（２）
他者と自己（２）	コミュニケーションと言語（２）
自己と社会（２）	パラダイム論（２）
キャリア発達論と自己理解（２）	日本語の多様性（２）
現代日本社会論（２） （自己発見と自己成長）	現代日本社会論（２） （問題発見と問題解決）
宗教学概論（２）	ジェンダー論（２）
福祉論（２）	青少年問題論（２）
子ども・学校論（２）	情報組織化論（２）
視聴覚メディア論（２）	生涯学習論（２）

. 学科科目（68）

心理人間学科学学生は、必修科目を20単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を42単位以上、合計68単位以上を修得すること。

必修科目(20)

第1年次

心理人間学基礎演習 (2) 心理人間学基礎演習 (2)

第2年次

心理人間学基礎演習 (2) 心理人間学基礎演習 (2)

第3年次

心理人間学演習 (2) 心理人間学演習 (2)

第4年次

心理人間学演習 (2) 心理人間学演習 (2)

研究プロジェクト(4)

なお、「研究プロジェクト」の単位を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択必修科目(6)

第1年次以降

次の科目の中から、3科目6単位修得すること。その際、*印の科目から2科目、それ以外の科目から1科目、合計3科目6単位を修得すること。なお、所定の単位数を超過して修得した選択必修科目は、選択科目に算入される。

心理学概論(2) 教育心理学概論(2)

*教育学概論(2) *人間関係概論(2)

選択科目(42)

第2年次

人間関係フィールドワーク(4) 人間関係フィールドワーク(4)

心理学実験(2) 心理学実験(2)

第2年次以降

人間関係プロセス論(3) 人間関係プロセス論(3)
(グループプロセス) (コミュニケーションプロセス)

人間関係トレーニング(2) 創造性ワークショップ(2)

臨床教育学(2) 教育社会学(2)

比較教育学(2) 教育社会史(2)

教育思想(2) 教育課程論(2)

教育制度論(2) コミュニケーション論(2)

障害児教育論(2) 人格心理学(2)

人文学部 心理人間学科

人格心理学 (2)	発達心理学 (2)
学習心理学 (2)	認知心理学 (2)
社会心理学 (2)	心理療法論 (2)
心理検査法 (2)	人間関係原論 (2)
カウンセリング的対話 (3)	カウンセリング面接演習 (3)
ボディワーク (3)	ボディワーク (3)
人間性教育論 (3)	ホリスティック教育論 (2)
ホリスティック死生論 (3)	からだとことば (3)
地域開発と人間関係 (3)	自己分析 (2)
心理測定法 (2)	

第3年次以降

教育と文化 (2)	子ども・青年社会学 (2)
現代教育論 (2)	近代教育と子ども (2)
生涯発達心理学 (2)	乳幼児心理学 (2)
臨床心理学 (2)	精神保健学 (2)
ファシリテーター・トレーニング (2)	グループアプローチ (3)
ゲシュタルトアプローチ (2)	体験学習実践論 (3)
心理人間学文献講読 (2)	心理人間学文献講読 (2)
心理調査法 (2)	心理教育統計法 (2)
心理教育統計法 (2)	質的データ研究法 (2)

任意選択科目 (20)

心理人間学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (3) 心理人間学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (4) 他学部・他学科科目 (他学部・他学科履修不可科目を除く)
- (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)

人文学部心理人間学科カリキュラム表

【人文学部 心理人間学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学部 共通 科目	選 択	8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
学 科 目	必修	必修科目を20単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を42単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。				
	必修	20単位修得しなければならない。				
		心理人間学基礎演習 (2)	心理人間学基礎演習 (2)	心理人間学演習 (2)	心理人間学演習 (2)	心理人間学演習 (2)
	心理人間学基礎演習 (2)	心理人間学基礎演習 (2)	心理人間学演習 (2)	心理人間学演習 (2)	心理人間学演習 (2)	研究プロジェクト(4)
選択必修	6 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
選 択	42 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
任意選択科目	20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (3) 心理人間学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (4) 他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)					

卒業に必要な単位数

人文学部心理人間学科

総単位数 128

共通教育科 32

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2-4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い 各2(1-4年次)

生命と環境 各2(1-4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1-4年次)

モダンの系譜 各2(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、文化人類学A、
文化人類学B、社会学A、社会学B、
経済学A、経済学B、数学A、数学B、
物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、
化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、
科学技術論B、地球科学A、地球科学B、
スポーツ科学論、健康科学論、スポーツ科
学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB
各4(1-4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2-4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1-2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

1 2

外国語科目 12

外国語科目は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得。

必修外国語科目 4

英語 4

英語、オーラルコミュニケーションB	各1
英語、リーディング	各1

選択必修外国語科目 8

英語 1-4

英語、ライティング	各1
英語、音声表現	各1
英語、オーラルコミュニケーションB	各1
英語、リーディング	各1

選択必修外国語は、1ないし2カ国語で8単位(ただし、英語は1~4単位、英語以外は1言語4単位以上)を修得。

フランス語 4-8

フランス語、、、文法・講読	各1
フランス語、、、会話・作文	各1

ドイツ語 4-8

ドイツ語、、、文法・講読	各1
ドイツ語、、、会話・作文	各1

スペイン語 4-8

スペイン語、、、文法・講読	各1
スペイン語、、、会話・作文	各1

ポルトガル語 4

ポルトガル語、文法・講読	各1
ポルトガル語、会話・作文	各1

中国語 4-8

中国語、、、会話・作文	各1
中国語、、、語法	各1

韓国朝鮮語 4

韓国朝鮮語、文法・講読	各1
韓国朝鮮語、会話・作文	各1

インドネシア語 4

インドネシア語、文法・講読	各1
インドネシア語、会話・作文	各1

ラテン語 4-8

ラテン語、、、文法	各1
ラテン語、、、講読	各1

ギリシャ語 4

ギリシャ語、文法	各1
ギリシャ語、講読	各1

学部共通科目 8

選択科目 8

学科科目 68

必修科目 20

選択必修科目 6

選択科目 42

履修方法については、学科の履修要項を参照のこと。なお、学科科目のうち、選択必修科目の6単位を超過して修得した単位は、選択科目の単位に算入される。

任意選択科目 20

任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・人文学部共通科目・日本文化学科科目の内で所定の単位数を超過して履修した科目、および他学部・他学科科目。(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。

日本文化学科履修要項 ()内は単位数

日本文化学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目 8 単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

・ 共通教育科目 (32)

日本文化学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第1年次

宗 教 論 (2)

基礎体育 A (1) 基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得。または、2テーマを選択して5科目10単位修得。(ただし、1テーマは2科目以上)

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

日本文化学科学生は、2カ国語にわたって、各言語を4単位以上を修得すること。

なお、選択必修外国語科目については、1ないし2カ国語8単位(ただし、英語以外は1言語4単位以上)を修得すること。

必修外国語科目 (4)

第1年次

英語 オールコミュニケーションB (1) 英語 オールコミュニケーションB (1)

英語 リーディング（１） 英語 リーディング（１）
 選択必修外国語科目（８）

第１年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。
 選択必修の単位に導入される外国語の具体的な科目名
 は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。
 英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、
 中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ
 科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履
 修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として
 卒業に必要な単位に算入される。「任意選択科目」
 の項を参照のこと。

・学部共通科目（８）

日本文化学科学生は、学部共通科目として、以下の科目
 から４科目８単位以上を履修すること。

選択科目（８）

第２年次秋学期以降

キリスト教学入門（２）	キリスト教文化入門（２）
他者と自己（２）	コミュニケーションと言語（２）
自己と社会（２）	パラダイム論（２）
キャリア発達論と自己理解（２）	日本語の多様性（２）
現代日本社会論（２） （自己発見と自己成長）	現代日本社会論（２） （問題発見と問題解決）
宗教学概論（２）	ジェンダー論（２）
福祉論（２）	青少年問題論（２）
子ども・学校論（２）	情報組織化論（２）
視聴覚メディア論（２）	生涯学習論（２）

・学科科目（68）

日本文化学科学生は、必修科目を20単位、選択科目を48
 単位以上、合計68単位以上を修得すること。

必修科目（20）

人文学部 日本文化学科

第1年次

日本文化学基礎演習 (2) 日本文化学基礎演習 (2)

第2年次

日本文化学基礎演習 (2) 日本文化学基礎演習 (2)

第3年次

日本文化学演習 (2) 日本文化学演習 (2)

第4年次

日本文化学演習 (2) 日本文化学演習 (2)

研究プロジェクト (4)

なお、「研究プロジェクト」を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択科目 (48)

次の科目の中から48以上単位を修得すること。

第1年次以降

日本文化学入門 (2) 対話的コミュニケーション (2)

からだことば (3) 文章表現法 (2)

日本文化史概説 (2) 日本文学史 A (2)

日本文学史 B (2) 日本文学史 C (2)

言語学概論 A (2) 言語学概論 B (2)

第2年次以降

日本文化史 A (2) 日本文化史 B (2)

日本文化史 C (2) 近現代日本とアジア (2)

日本民俗文化論 (2) 日本芸能史 (2)

宗教人類学 (2) 消費社会論 (2)

日本経済史 (2) 表象文化論 (2)

現代社会と人間 (3) 日本思想史 (2)

地域文化論 (2) 日本中世史 (2)

日本美術史 (2) 和歌文学研究 (2)

物語・日記文学研究 (2) 中世文学研究 (2)

王朝文学研究 (2) 近代文学研究 (2)

近世文学研究 (2) 近代小説研究 (2)

文学と歴史 (2) 近代女性作家研究 (2)

女性と古典文学 (2) 古典資料講読 (2)

唐宋文学研究 (2) 古文獻入門 (2)

漢文学	(2)	漢文学	(2)
漢文学研究	(2)	漢文学研究	(2)
日本語史	(2)	日本語史	(2)
現代日本語の構造	(2)	言語分析 A	(2)
言語分析 B	(2)	日本語シタックス	(2)
社会言語学	(2)	日本語音声学	(2)
日本語音韻論	(2)	日本語研究史	(2)
外国人による日本語研究	(2)	日本語教授法	(2)
日本語教授法	(2)	第二言語習得研究	(2)
日本語の教育と学習	(2)	日本語教育文法	(2)
日本語教育教材研究	(2)	日本語の会話教育	(2)
日本語の音声教育	(2)	日本語能力評価法	(2)

第3年次以降

現代日本語の構造	(2)	心理言語学	(2)
コンピュータと言語学	(2)	日本語の口頭能力研究	(2)

第4年次

日本語教育実地研究	(2)
-----------	-----

任意選択科目 (20)

日本文化学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (3) 日本文化学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (4) 他学部・他学科科目 (他学部・他学科履修不可科目を除く)
- (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭」に関する科目)は含まれない)

人文学部 日本文化学科

人文学部日本文化学科カリキュラム表

【人文学部 日本文化学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部 共通 科目	選 択		8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学 科		必修科目を20単位、選択科目を48単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。				
科 目	必 修	20単位修得しなければならない。				
		日本文学基礎演習 (2)	日本文学基礎演習 (2)	日本文学演習 (2)	日本文学演習 (2)	日本文学演習 (2)
目	選 択	48単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
		任意選択科目				
任意選択科目		20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (2)人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (3)日本文化学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (4)他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)				

卒業に必要な単位数

人文学部日本文化学科

総単位数 128

共通教育科 32

必修科目: 6

宗教科目

宗教論; 2(1年次)

キリスト教概論; 2(2年次)

体育科目

基礎体育A; 1(1年次)

基礎体育B; 1(1年次)

選択必修科目: 14

人間の尊厳科目: 4(2~4年次)

テーマ科目: 10

異文化との出会い; 各2(1~4年次)

生命と環境; 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会; 各2(1~4年次)

モダンの系譜; 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、文化人類学A、
文化人類学B、社会学A、社会学B、
経済学A、経済学B、数学A、数学B、
物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、
化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、
科学技術論B、地球科学A、地球科学B、
スポーツ科学論、健康科学論、スポーツ科
学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技; 各1(2~4年次)

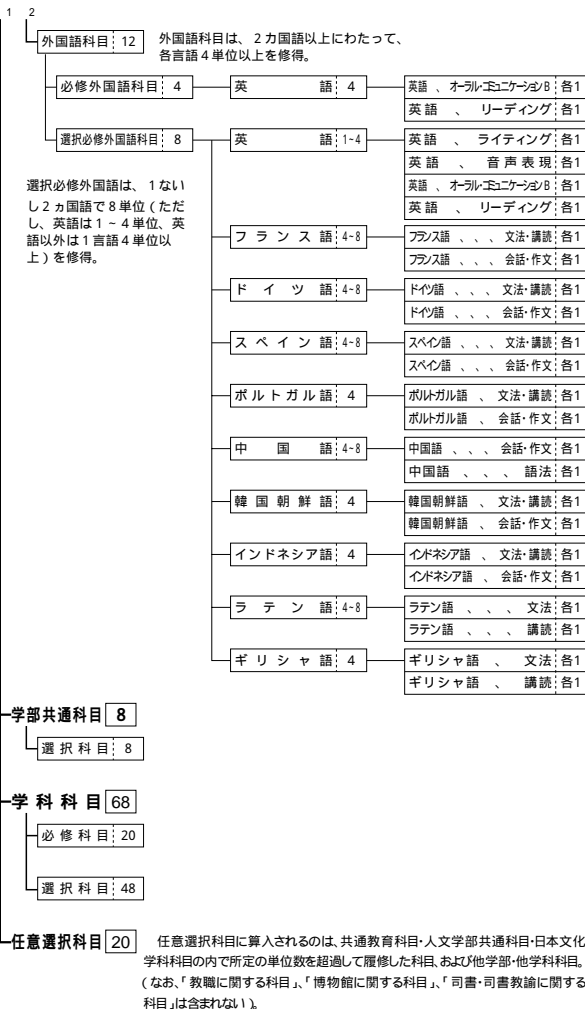
情報科目

情報リテラシー; 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修; 2(3年次)

人文学部 日本文化学科



外国語学部履修要項

1. 外国語学部学生は、卒業のためには「共通教育科目」、「学科科目」、「外国語学部共通基礎科目」、「外国語学部共通専門科目」、「任意選択科目」を履修して128単位以上を修得しなければならない。
2. 共通教育科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める。（「共通教育科目履修要項」および「各学科履修要項」を参照のこと。）
3. 外国語学部学生は、外国語学部共通基礎科目を8単位以上、また外国語学部共通専門科目を10単位以上修得しなければならない。
4. 外国語学部学生は各自の所属する学科の必修科目、選択科目を、それぞれ所定の単位数修得しなければならない。この履修方法については別に定める。（「各学科履修要項」を参照のこと。）
5. 外国語学部学生は、下記の科目を任意選択科目として卒業に必要な単位に算入できる。算入できる単位数は別に定める。（「各学科履修要項」を参照のこと。）
 - (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、所属する学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
 - (2) 外国語学部他学科の学科の科目（他学科履修不可の科目を除く）。
 - (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。
6. 外国語学部学生は「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」を自由科目として履修することができる。ただし、自由科目は卒業に必要な単位数には算入されない。
7. 外国語学部学生が1学期に履修登録を許される総単位数は自由科目を除き、22単位以内とする。なお、通年科目につ

いては、その単位数の2分の1ずつを各学期に含めるものとする。

8. 本学に設置していない科目を、留学先大学で修得した場合、教育上適切と認められれば、任意選択科目として認定することがある。
9. 特に必修外国語の能力があると認定された学生については、学生本人の申請に基づいて必修外国語科目(学科科目を含む)の履修を免除することがある。なお、この場合、免除された外国語科目と同じ単位数の科目(自由科目を除く)を履修しなければならない。
また、この場合、指定年次に達していない場合でも、免除された外国語科目の上級年次の外国語科目の履修を認めることがある。
10. 外国語学部学生は「演習IV」の単位を修得するには卒業論文を提出しなければならない。
11. 欠席時数が授業科目の授業予定数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績は原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。

英米学科履修要項

・ 共通教育科目 (36)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基 礎 体 育 A (1)

基 礎 体 育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科

目10単位を修得すること（ただし、1テーマは2科目以上修得すること）

「異文化との出会い」 「生命と環境」
 「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を修得すること。

外国語科目（16）

必修外国語科目（8）

下記の4科目計8単位を第1年次に履修すること。

英語 オールコミュニケーションA（3） 英語 オールコミュニケーションA（3）
 英語 リーディング（1） 英語 リーディング（1）

選択必修外国語科目（8）

次の外国語の中から、1または2言語8単位（ただし1言語は4単位以上）を履修すること。

フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、
 韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

外国語科目については、共通教育科目履修要項を参照すること。

・外国語学部共通科目（18）

学部共通基礎科目（8）

選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎（2） 言語研究の基礎（2）
 （言葉の機能） （文法論）

言語研究の基礎（2） 文学研究の基礎（2）
 （形態論） （小説）A

文学研究の基礎（2） 文学研究の基礎（2）
 （小説）B （詩）

文学研究の基礎（2） 外国語教育の基礎（2）
 （演劇）

コミュニケーション研究の基礎（2） コミュニケーション研究の基礎（2）
 （人文的アプローチ） （社会心理的アプローチ）

思想研究の基礎（２）	政治研究の基礎（２） （アメリカ）
政治研究の基礎（２） （ドイツ）	社会学研究の基礎（２） （アメリカ）
社会学研究の基礎（２） （アジア）	国際関係論の基礎（２） （日本とアメリカ）
国際関係論の基礎（２） （日本とアジア）	国際関係論の基礎（２） （日本と中南米）
歴史研究の基礎（２） （アメリカ）	歴史研究の基礎（２） （スペイン）
歴史研究の基礎（２） （ドイツ）	経済研究の基礎（２） （ミクロ経済学）
経済研究の基礎（２） （マクロ経済学）	

学部共通専門科目（10）

選択必修科目

下記の科目の中から 5 科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

対 照 言 語 学（２）	心 理 言 語 学（２）
外国語教育論（２）	第二言語習得論（２）
異文化コミュニケーション論（２）	文 学 理 論（２）
文 学 と 社 会（２）	比 較 文 化 論（２）
第 三 世 界 論（２）	南 北 ア メ リ カ 論（２）
国 際 関 係 論（２）	国 際 経 済 学（２）
開 発 経 済 学（２）	比 較 社 会 論（２）
国 際 企 業 論（２）	

学科科目（52）

必修科目（30）

下記の18科目計30単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

アメリカの文化（２）	アメリカの文化（２）
------------	------------

Writing in English	(2)	Writing in English	(2)
English Workshop	(1)	English Workshop	(1)
第 2 年次			
Writing in English	(1)	Writing in English	(1)
English Workshop	(1)	English Workshop	(1)
Communication in English	(3)	Communication in English	(3)
Reading in English	(1)	Reading in English	(1)
第 3 年次			
演 習	(2)	演 習	(2)
第 4 年次			
演 習	(2)	演 習	(2)

選択科目 (22)

下記の科目の中から計22単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

政治とコミュニケーション	(2)	人間関係とコミュニケーション	(2)
コミュニケーション特殊研究A	(2)	コミュニケーション特殊研究B	(2)
英語教育特殊研究 (メディアの活用)	(2)	英語教育特殊研究 (評価)	(2)
英語教育特殊研究 (教材作成)	(2)	英語の構造	(2)
英語の構造	(2)	英文法論	(2)
英文法論	(2)	英語音声学	(2)
英語音声学	(2)	英語学特殊研究 (テキスト言語学)	(2)
英語学特殊研究 (理論言語学)	(2)	英語学特殊研究 (応用言語学)	(2)
英語学特殊研究 (意味論)	(2)	英語学特殊研究 (統語論)	(2)
英語学特殊研究 (対照言語学)	(2)	英語学特殊研究 (音韻論)	(2)
英語学特殊研究 (比較言語学)	(2)	英語学特殊研究 (心理言語学)	(2)
イギリス文学史	(2)	イギリス文学史	(2)

アメリカ文学史 (2)	アメリカ文学史 (2)
英米の小説 (2)	英米の詩 (2)
英米の演劇 (2)	
英米文学特殊研究 (2) (小説)A	英米文学特殊研究 (2) (小説)B
英米文学特殊研究 (2) (詩)A	英米文学特殊研究 (2) (詩)B
英米文学特殊研究 (2) (演劇)A	英米文学特殊研究 (2) (演劇)B
作家作品研究 (2) (アメリカ文学)A	作家作品研究 (2) (アメリカ文学)B
作家作品研究 (2) (イギリス文学)A	作家作品研究 (2) (イギリス文学)B
アメリカの歴史 (2)	アメリカ史特殊研究A (2)
アメリカ史特殊研究B (2)	アメリカの政治 (2)
アメリカ政治特殊研究A (2)	アメリカ政治特殊研究B (2)
アメリカの社会 (2)	アメリカ社会特殊研究A (2)
アメリカ社会特殊研究B (2)	アメリカの外交 (2)
アメリカ外交特殊研究A (2)	アメリカ外交特殊研究B (2)
アメリカの経済 (2)	アメリカ経済特殊研究A (2)
アメリカ経済特殊研究B (2)	日米関係論 (2)
英米の思想 (2)	基礎英語通訳法 (2)
上級英語通訳法 (2)	マスメディアの英語 (2)
英語プレゼンテーション (2)	英語翻訳法 (2)
ビジネス・コミュニケーション (2)	クリエイティブライティング (2)
Special Topics in English: Issues in Society	(2)
Special Topics in English: Issues in the Humanities	(2)
Special Topics in English: Issues in Interdisciplinary Studies	(2)
Special Topics in English: Issues in International Studies	(2)
Special Topics in English: Issues in Cross-cultural Studies	(2)
Special Topics in English: Issues in Language Studies	(2)

任意選択科目 (22)

下記の(1)~(3)に該当する科目の中から計22単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、英米学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

スペイン・ラテンアメリカ学科履修要項

・ 共通教育科目 (34)
 必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること(ただし、1テーマは2科目以上修得すること)。

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を履修すること。

外国語科目 (14)

必修外国語科目 (14)

下記の12科目計14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次(12)

基礎スペイン語 文法(2) 基礎スペイン語 文法(2)

基礎スペイン語 講読(1) 基礎スペイン語 講読(1)

基礎スペイン語 作文(1) 基礎スペイン語 作文(1)

英語 オラルコミュニケーションB(1) 英語 オラルコミュニケーションB(1)

英語 リーディング(1) 英語 リーディング(1)

第2年次(2)

英語 オラルコミュニケーションB(1) 英語 オラルコミュニケーションB(1)

・外国語学部共通科目(18)

学部共通基礎科目(8)

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

選択必修科目

第1・2年次

言語研究の基礎(2) 言語研究の基礎(2)
(言葉の機能) (文法論)

言語研究の基礎(2) 文学研究の基礎(2)
(形態論) (小説)A

文学研究の基礎(2) 文学研究の基礎(2)
(小説)B (詩)

文学研究の基礎(2) 外国語教育の基礎(2)
(演劇)

コミュニケーション研究の基礎(2) コミュニケーション研究の基礎(2)
(人文的アプローチ) (社会心理的アプローチ)

思想研究の基礎(2) 政治研究の基礎(2)
(アメリカ)

政治研究の基礎(2) 社会学研究の基礎(2)
(ドイツ) (アメリカ)

社会学研究の基礎(2) 国際関係論の基礎(2)
(アジア) (日本とアメリカ)

国際関係論の基礎(2) 国際関係論の基礎(2)
(日本とアジア) (日本と中南米)

歴史研究の基礎（２） 歴史研究の基礎（２）
（アメリカ） （スペイン）

歴史研究の基礎（２） 経済研究の基礎（２）
（ドイツ） （ミクロ経済学）

経済研究の基礎（２）
（マクロ経済学）

学部共通専門科目（10）

選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

対照言語学（２） 心理言語学（２）

外国語教育論（２） 第二言語習得論（２）

異文化コミュニケーション論（２） 文学理論（２）

文学と社会（２） 比較文化論（２）

第三世界論（２） 南北アメリカ論（２）

国際関係論（２） 国際経済学（２）

開発経済学（２） 比較社会論（２）

国際企業論（２）

・学科科目（60）

必修科目（34）

下記の28科目計34単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

スペインの文化（２） ラテンアメリカの文化（２）

スペイン語 会話A（１） スペイン語 会話A（１）

スペイン語 会話B（１） スペイン語 会話B（１）

第2年次

スペイン語 作文（１） スペイン語 作文（１）

スペイン語 講読（１） スペイン語 講読（１）

スペイン語 文法（１） スペイン語 文法（１）

スペイン語 会話A (1) スペイン語 会話A (1)

スペイン語 会話B (1) スペイン語 会話B (1)

第3年次

演 習 (2) 演 習 (2)

スペイン語 作文 (1) スペイン語 作文 (1)

スペイン語 講読 (1) スペイン語 講読 (1)

スペイン語 会話 (1) スペイン語 会話 (1)

第4年次

演 習 (2) 演 習 (2)

スペイン語 講読 (1) スペイン語 講読 (1)

選択科目 (26)

下記の科目の中から計26単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

スペイン語実習 (4)

第2年次

ブラジル・ポルトガル語 (1) ブラジル・ポルトガル語 (1)

第3・4年次

ス ペ イ ン 史 (2) ラテンアメリカ史A (2)

ラテンアメリカ史B (2) スペイン文学A (2)

スペイン文学B (2) ラテンアメリカ文学A (2)

ラテンアメリカ文学B (2) スペイン思想史 (2)

ラテンアメリカの政治 (2) ラテンアメリカ経済史 (2)

ラテンアメリカの経済 (2) ラテンアメリカの経済政策 (2)

ス ペ イ ン 法 (2) スペイン語表現法 (2)

スペイン語表現法 (2) ポルトガル語比較文法 (2)

ブラジル・ポルトガル文化研究 (2) スペイン特殊研究 (2)

ラテンアメリカ特殊研究 (2) スペイン語学特殊研究 (2)

スペイン文学特殊研究A (2) スペイン文学特殊研究B (2)

スペイン語通訳法 (2) スペイン語通訳法 (2)

時事スペイン語 (2) 時事スペイン語 (2)

任意選択科目 (16)

下記の(1)~(3)に該当する科目の中から計16単位を履修

すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、スペイン・ラテンアメリカ学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
 - (2) 外国語学部他学科の学科科目（他学科履修不可の科目を除く）。
 - (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可の科目を除く）。
- その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

フランス学科履修要項

・ 共通教育科目（34）

必修科目（6）

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論（2） 基礎体育 A（1）
基礎体育 B（1）

第2年次

キリスト教概論（2）

選択必修科目（14）

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること（ただし、1テーマは2科目以上修得すること）。

「異文化との出会い」 「生命と環境」
「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を履修すること。

外国語科目（14）

必修外国語科目（14）

下記の12科目計14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次（12）

基礎フランス語 A（1） 基礎フランス語 A（1）

基礎フランス語 B（1） 基礎フランス語 B（1）

基礎フランス語 C（1） 基礎フランス語 C（1）

基礎フランス語 D（1） 基礎フランス語 D（1）

英語 オールコミュニケーションB（1） 英語 オールコミュニケーションB（1）

英語 リーディング（1） 英語 リーディング（1）

第2年次（2）

英語 オールコミュニケーションB（1） 英語 オールコミュニケーションB（1）

外国語学部共通科目（18）

学部共通基礎科目（8）

選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎（2） 言語研究の基礎（2）
（言葉の機能） （文法論）

言語研究の基礎（2） 文学研究の基礎（2）
（形態論） （小説）A

文学研究の基礎（2） 文学研究の基礎（2）
（小説）B （詩）

文学研究の基礎（2） 外国語教育の基礎（2）
（演劇）

コミュニケーション研究の基礎（2） コミュニケーション研究の基礎（2）
（人文的アプローチ） （社会心理的アプローチ）

思想研究の基礎（2） 政治研究の基礎（2）
（アメリカ）

政治研究の基礎（2） 社会学研究の基礎（2）
（ドイツ） （アメリカ）

社会学研究の基礎 (2) (アジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本とアメリカ)
国際関係論の基礎 (2) (日本とアジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本と中南米)
歴史研究の基礎 (2) (アメリカ)	歴史研究の基礎 (2) (スペイン)
歴史研究の基礎 (2) (ドイツ)	経済研究の基礎 (2) (ミクロ経済学)
経済研究の基礎 (2) (マクロ経済学)	

学部共通専門科目 (10)

選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

対照言語学 (2)	心理言語学 (2)
外国語教育論 (2)	第二言語習得論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文学理論 (2)
文学と社会 (2)	比較文化論 (2)
第三世界論 (2)	南北アメリカ論 (2)
国際関係論 (2)	国際経済学 (2)
開発経済学 (2)	比較社会論 (2)
国際企業論 (2)	

学科科目 (58)

必修科目 (32)

下記の28科目計34単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次 (8)

フランスの文化と社会 (2)	フランスの文化と社会 (2)
総合フランス語 文法 (1)	総合フランス語 文法 (1)
総合フランス語 コミュニケーション (1)	総合フランス語 コミュニケーション (1)

第2年次 (14)

フランスの文化と社会 (2)	論文作成法 (2)
----------------	-----------

総合フランス語 文法 (1)	総合フランス語 文法 (1)
総合フランス語 ミュニケーションA (1)	総合フランス語 ミュニケーションA (1)
総合フランス語 ミュニケーションB (1)	総合フランス語 ミュニケーションB (1)
総合フランス語 ミュニケーションC (1)	総合フランス語 ミュニケーションC (1)
中級フランス語講読A (1)	中級フランス語講読A (1)
第3年次	
上級フランス語 作文 (1)	上級フランス語 作文 (1)
演 習 (2)	演 習 (2)
第4年次	
演 習 (2)	演 習 (2)

選択科目 (26)

下記の科目の中から計26単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

フランス語 実 習 (4)

第2年次

中級フランス語講読B (1) 中級フランス語講読B (1)

中級フランス語講読C (1) 中級フランス語講読C (1)

第2年次以降

フランス文学史 (2) フランスの歴史 (2)

フランス精神 (2) フランスの政治 (2)

第3・4年次

上級フランス語会話 A (1) 上級フランス語会話 A (1)

上級フランス語会話 B (1) 上級フランス語会話 B (1)

実用フランス語 (1) 実用フランス語 (1)

フランス語表現法 (2) フランス語翻訳法 (2)

フランス文法論 (2) フランス語学 (2)

フランス文学講読 (2) フランス文学研究 (2)

フランスの社会と文学 (2) フランスの文化 (2)

フランスの思想 (2) フランスの法制 (2)

フランスの外交 (2) フランスの社会 (2)

日仏交流史 (2) 時事フランス語 (2)

文 献 講 読 (2)

(注) 一年次のフランス語科目 (基礎フランス語 ・

A、B、C、Dおよび総合フランス語・文法、コミュニケーション)の全科目の単位を完全に取得していない場合には、3、4年次の学科科目を登録することができない。

・任意選択科目(18)

下記の(1)~(3)に該当する科目の中から18単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、フランス学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

ドイツ学科履修要項

・共通教育科目(34)

必修科目(6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基 礎 体 育 A (1)
基 礎 体 育 B (1)

第2年次

キリスト教概論(2)

選択必修科目(14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科

目10単位を修得すること（但し、1テーマは2科目以上修得すること）。

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目（14）

必修外国語科目（14）

下記の12科目14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次（12）

基礎ドイツ語 文法（1） 基礎ドイツ語 文法（1）

基礎ドイツ語 コミュニケーション（2） 基礎ドイツ語 コミュニケーション（2）

基礎ドイツ語 講読（1） 基礎ドイツ語 講読（1）

英語 オラルコミュニケーションB（1） 英語 オラルコミュニケーションB（1）

英語 リーディング（1） 英語 リーディング（1）

第2年次（2）

英語 オラルコミュニケーションB（1） 英語 オラルコミュニケーションB（1）

・外国語学部共通科目（18）

学部共通基礎科目（8）

選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎（2） 言語研究の基礎（2）
（言葉の機能） （文法論）

言語研究の基礎（2） 文学研究の基礎（2）
（形態論） （小説）A

文学研究の基礎（2） 文学研究の基礎（2）
（小説）B （詩）

文学研究の基礎（2） 外国語教育の基礎（2）
（演劇）

コミュニケーション研究の基礎 (2) (人文的アプローチ)	コミュニケーション研究の基礎 (2) (社会心理的アプローチ)
思想研究の基礎 (2)	政治研究の基礎 (2) (アメリカ)
政治研究の基礎 (2) (ドイツ)	社会学研究の基礎 (2) (アメリカ)
社会学研究の基礎 (2) (アジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本とアメリカ)
国際関係論の基礎 (2) (日本とアジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本と中南米)
歴史研究の基礎 (2) (アメリカ)	歴史研究の基礎 (2) (スペイン)
歴史研究の基礎 (2) (ドイツ)	経済研究の基礎 (2) (ミクロ経済学)
経済研究の基礎 (2) (マクロ経済学)	

学部共通専門科目 (10)

選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

対照言語学 (2)	心理言語学 (2)
外国語教育論 (2)	第二言語習得論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文学理論 (2)
文学と社会 (2)	比較文化論 (2)
第三世界論 (2)	南北アメリカ論 (2)
国際関係論 (2)	国際経済学 (2)
開発経済学 (2)	比較社会論 (2)
国際企業論 (2)	

・学科科目 (58)

必修科目 (28)

下記の19科目計28単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

ドイツ研究入門	(2)	ドイツ研究入門	(2)
ドイツ語作文	(1)	ドイツ語作文	(1)
ドイツ語講読	(1)	ドイツ語講読	(1)

第2年次

ドイツ研究入門	(2)	ドイツ語作文	(1)
ドイツ語作文	(1)	ドイツ語講読	(1)
ドイツ語講読	(1)	ドイツ語文法	(1)
ドイツ語文法	(1)	ドイツ語コミュニケーション	(2)
ドイツ語コミュニケーション	(2)		

第3年次

演習	(2)	演習	(2)
----	-----	----	-----

第4年次

演習	(2)	演習	(2)
----	-----	----	-----

選択必修科目(6)

下記の上級ドイツ語科目の中から2単位、応用ドイツ語科目から4単位を、第3年次以降に履修すること。ただし、それぞれ所定の単位数を超えて履修した選択必修の単位は選択科目に算入される。

【上級ドイツ語科目】(2)

上級ドイツ語会話	(1)	上級ドイツ語会話	(1)
上級ドイツ語作文	(1)	上級ドイツ語作文	(1)

【応用ドイツ語科目】(4)

作品講読 A	(2)	作品講読 B	(2)
文献講読 A	(2)	文献講読 B	(2)
時事ドイツ語	(2)		

選択科目(24)

下記の科目の中から計24単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次以降

ドイツ語演劇研究	(2)	ドイツ語演劇研究	(2)
ドイツ語演劇研究	(2)	ドイツ語演劇研究	(2)
ドイツ語演劇研究	(2)	ドイツ語演劇研究	(2)

第2年次

中級ドイツ語講読 (1) 中級ドイツ語講読 (1)

第2年次以降

ドイツの思想と文化 (2) ドイツの政治と社会 (2)

ドイツ中世史 (2) ドイツ近代史 (2)

ドイツ現代史 (2) ドイツ文学史A (2)

ドイツ文学史B (2) ドイツ哲学史A (2)

ドイツ哲学史B (2) 留学のためのドイツ語A (1)

留学のためのドイツ語B (1)

第3年次以降

ドイツの社会と文学 (2) ドイツの経済 (2)

ドイツの法制 (2) ドイツ文学研究 (2)

ドイツ語学研究 (2) ドイツ経済研究 (2)

ドイツ政治研究 (2)

(注) 演習 を登録するには、1年次のドイツ語科目10科目(基礎ドイツ語・文法、基礎ドイツ語・コミュニケーション、基礎ドイツ語・講読およびドイツ語作文・、ドイツ語講読・)の全科目の単位を完全に取得していなければならない。ただし、不足単位数が4単位以内の場合に限り、入学後の独検3級合格を条件に演習の履修を認める。これに該当する者は、証明書を教務課窓口へ持参すること。

任意選択科目 (18)

下記の(1)~(3)に該当する科目の中から計18単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、ドイツ学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

アジア学科履修要項

・ 共通教育科目 (34)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基 礎 体 育 A (1)

基 礎 体 育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること(ただし、1テーマは2科目以上修得すること)。

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (14)

必修外国語科目 (14)

下記の14科目14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

中国語 会話・作文 (1) 中国語 会話・作文 (1)

中国語 語法 (1) 中国語 語法 (1)

インドネシア語 会話・作文 (1) インドネシア語 会話・作文 (1)

インドネシア語 文法・講読 (1) インドネシア語 文法・講読 (1)

英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)

第2年次

英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)

英語 リーディング (1) 英語 リーディング (1)

・外国語学部共通科目（18）

学部共通基礎科目（8）

選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎（2）（言葉の機能）

言語研究の基礎（2）（文法論）

言語研究の基礎（2）（形態論）

文学研究の基礎（2）（小説）A

文学研究の基礎（2）（小説）B

文学研究の基礎（2）（詩）

文学研究の基礎（2）（演劇）

外国語教育の基礎（2）

コミュニケーション研究の基礎（2）（人文的アプローチ）

コミュニケーション研究の基礎（2）（社会心理的アプローチ）

思想研究の基礎（2）

政治研究の基礎（2）（アメリカ）

政治研究の基礎（2）（ドイツ）

社会学研究の基礎（2）（アメリカ）

社会学研究の基礎（2）（アジア）

国際関係論の基礎（2）（日本とアメリカ）

国際関係論の基礎（2）（日本とアジア）

国際関係論の基礎（2）（日本と中南米）

歴史研究の基礎（2）（アメリカ）

歴史研究の基礎（2）（スペイン）

歴史研究の基礎（2）（ドイツ）

経済研究の基礎（2）（ミクロ経済学）

経済研究の基礎（2）（マクロ経済学）

学部共通専門科目（10）

選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

対 照 言 語 学 (2)	心 理 言 語 学 (2)
外 国 語 教 育 論 (2)	第 二 言 語 習 得 論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文 学 理 論 (2)
文 学 と 社 会 (2)	比 較 文 化 論 (2)
第 三 世 界 論 (2)	南 北 ア メ リ カ 論 (2)
国 際 関 係 論 (2)	国 際 経 済 学 (2)
開 発 経 済 学 (2)	比 較 社 会 論 (2)
国 際 企 業 論 (2)	

・ 学科科目 (56)

必修科目 (18)

下記の10科目計18単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

なお所定の単位数を超過して修得した選択必修科目は、選択科目に算入される。

第1年次

入 門 演 習 (2)	日 本 と ア ジ ア (2)
中 国 語 発 音 ・ 聴 力 (1)	中 国 語 発 音 ・ 聴 力 (1)

第2年次

基 礎 演 習 (2)	日 本 と ア ジ ア (2)
---------------	-------------------

第3年次

演 習 (2)	演 習 (2)
-----------	-----------

第4年次

演 習 (2)	演 習 (2)
-----------	-----------

選択必修科目 (6)

下記の科目の中から計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第2年次

中 級 中 国 語 会 話 (1)	中 級 中 国 語 会 話 (1)
中 級 中 国 語 語 法 (1)	中 級 中 国 語 語 法 (1)
中 級 中 国 語 読 解 (1)	中 級 中 国 語 読 解 (1)
中 級 イ ン ド ネ シ ア 語 会 話 (1)	中 級 イ ン ド ネ シ ア 語 会 話 (1)
中 級 イ ン ド ネ シ ア 語 文 法 (1)	中 級 イ ン ド ネ シ ア 語 文 法 (1)
中 級 イ ン ド ネ シ ア 語 読 解 (1)	中 級 イ ン ド ネ シ ア 語 読 解 (1)

選択科目 (32)

下記の科目の中から計32単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第2年次

中国圏の文化と社会 (2) 東南アジアの歴史と文化 (2)

中国欧州交流史 (2)

第3年次

中級中国語 会話 (1) 中級中国語 会話 (1)

中級中国語 読解 (1) 中級中国語 読解 (1)

中国語時事 A (2) 中国語時事 B (2)

中級インドネシア語 会話 (1) 中級インドネシア語 会話 (1)

中級インドネシア語 読解 (1) 中級インドネシア語 読解 (1)

インドネシア語時事 A (2) インドネシア語時事 B (2)

第4年次

中国語作文 A (2) 中国語作文 B (2)

上級中国語会話 (1) インドネシア語作文 A (2)

インドネシア語作文 B (2) 上級インドネシア語会話 (1)

第3・4年次

韓国・朝鮮の言語と文化 (2) 韓国・朝鮮の言語と文化 (2)

タイの言語と文化 (2) タイの言語と文化 (2)

中国語学研究 (2) 中国古典文学研究 (2)

中国現代文学研究 (2) 中国古代史研究 (2)

インドネシア文学研究 (2) タイ文化研究 (2)

インドネシア文化研究 (2) ベトナム文化研究 (2)

中国社会研究 (2) 中国经济研究 (2)

イスラム社会研究 (2) インドネシア社会研究 (2)

ベトナム社会研究 (2) フィリピン社会研究 (2)

華人社会研究 (2) 華人経済研究 (2)

東アジア外交研究 (2) アジア経済論 (2)

アジア経済論 (2) 漢文学 (2)

漢文学 (2) 中国近代史研究 (2)

中国現代史研究 (2) アジア芸術研究 (2)

インドネシア宗教研究 (2) インドネシア民族研究 (2)

・任意選択科目（20）

下記の(1)~(3)に該当する科目の中から計20単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、アジア学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科科目の学科科目（他学科履修不可の科目を除く）。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部英米学科カリキュラム表

【外国語学部 英米学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			36単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	選択必修		8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学部共通専門科目	選択必修				10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
学 科 目	必修科目を30単位、選択科目を22単位以上、合計52単位以上を修得しなければならない。					
	必 修	30単位修得しなければならない。				
		アメリカの文化 (2) アメリカの文化 (2) Writing in English (2) Writing in English (2) English Workshop (1) English Workshop (1)	Writing in English (1) Writing in English (1) English Workshop (1) Communication in English (3) Communication in English (3) Reading in English (1) Reading in English (1)	演習 (2) 演習 (2)		演習 (2) 演習 (2)
選 択	22単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
任意選択科目		22単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、英米学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。 (2) 外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。				

卒業に必要な単位数

外国語学部英米学科

総単位数 128

共通教育科 36

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育 A 1(1年次)

基礎体育 B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2-4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い 各2(1-4年次)

生命と環境 各2(1-4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1-4年次)

モダンの系譜 各2(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B、
世界史、自然地理学、人文地理学、
地誌概論、倫理学

各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1-4年次)

体育科目

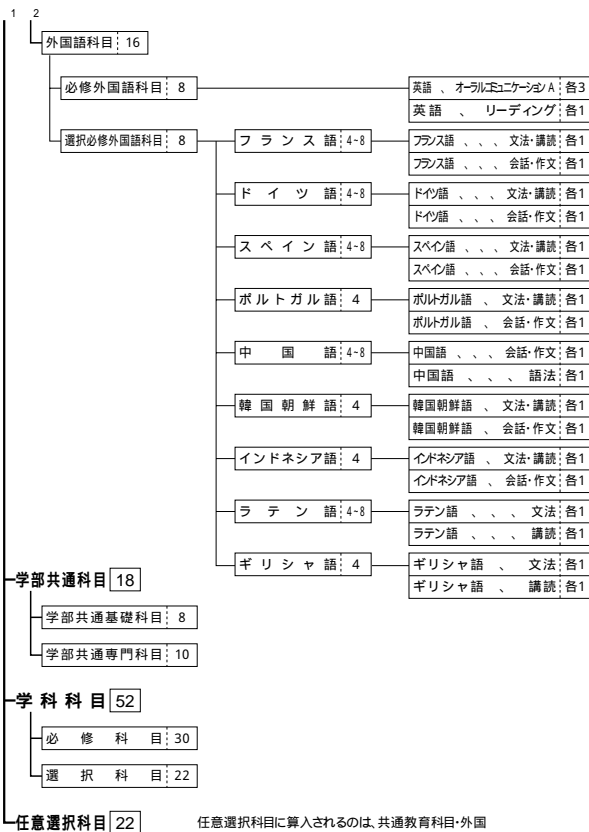
スポーツ実技 各1(2-4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1-2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)



外国語学部

任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・外国語学部共通科目・英米学科科目の内で所定の単位数を超過して修得した科目、及び他学部・他学科科目。(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。

外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科

外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科カリキュラム表

【外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科】

区分		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学部共通専門科目	選択必修			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
学 科 目	必修科目を34単位、選択科目を26単位以上、合計60単位以上を修得しなければならない。				
	必修	34単位修得しなければならない。			
		スペインの文化(2) ラテンアメリカの文化(2) スペイン語 会話A(1) スペイン語 会話B(1) スペイン語 会話A(1) スペイン語 会話B(1)	スペイン語 作文(1) スペイン語 作文(1) スペイン語 講読(1) スペイン語 講読(1) スペイン語 文法(1) スペイン語 文法(1) スペイン語 会話A(1) スペイン語 会話B(1) スペイン語 会話A(1) スペイン語 会話B(1)	スペイン語 演習(2) スペイン語 演習(2) スペイン語 作文(1) スペイン語 作文(1) スペイン語 講読(1) スペイン語 講読(1) スペイン語 会話(1) スペイン語 会話(1)	演習(2) 演習(2) スペイン語 講読(1) スペイン語 講読(1)
選択	26単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		16単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、スペイン・ラテンアメリカ学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。 (2)外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3)他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。			

卒業に必要な単位数

外国語学部英米学科

総単位数 128

共通教育科 34

必修科目: 6

宗教科目

宗教論: 2(1年次)

キリスト教概論: 2(2年次)

体育科目

基礎体育A: 1(1年次)

基礎体育B: 1(1年次)

選択必修科目: 14

人間の尊厳科目: 4(2~4年次)

テーマ科目: 10

異文化との出会い: 各2(1~4年次)

生命と環境: 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会: 各2(1~4年次)

モダンの系譜: 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技: 各1(2~4年次)

情報科目

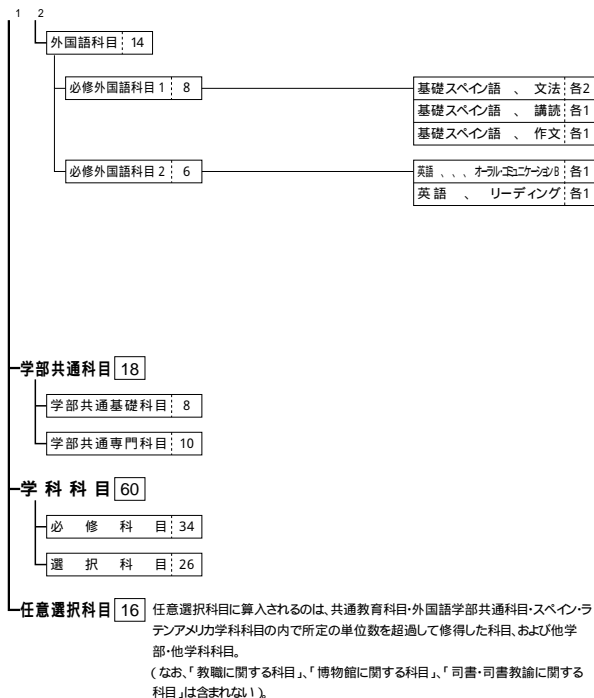
情報リテラシー: 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2(3年次)

外国語学部

外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科



外国語学部フランス学科カリキュラム表

【外国語学部 フランス学科】

区分		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学部共通専門科目	選択必修			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
必修科目を32単位、選択科目を26単位以上、合計58単位以上を修得しなければならない。					
学 科 必 修	32単位修得しなければならない。				
	フランスの文化と社会 (2) フランスの文化と社会 (2) 総合フランス語 文法(1) 総合フランス語 文法(1) 総合フランス語 コミュニケーション(1) 総合フランス語 コミュニケーション(1)	フランスの文化と社会 (2) 論文作成法(2) 総合フランス語 文法(1) 総合フランス語 文法(1) 総合フランス語 コミュニケーションA(1) 総合フランス語 コミュニケーションA(1) 総合フランス語 コミュニケーションB(1) 総合フランス語 コミュニケーションB(1) 総合フランス語 コミュニケーションC(1) 総合フランス語 コミュニケーションC(1) 中級フランス語講読A (1) 中級フランス語講読A (1)	上級フランス語 作文(1) 上級フランス語 作文(1) 演習 (2) 演習 (2)	演習 (2) 演習 (2)	
目 選 択	26単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		18単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、フランス学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。 (2)外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3)他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。			

卒業に必要な単位数

外国語学部フランス学科

総単位数 **128**

共通教育科 **34**

必修科目 **6**

宗教科目

宗教論:2(1年次)

キリスト教概論:2(2年次)

体育科目

基礎体育A:1(1年次)

基礎体育B:1(1年次)

選択必修科目 **14**

人間の尊厳科目:4(2-4年次)

テーマ科目 **10**

異文化との出会い:各1(1-4年次)

生命と環境:各1(1-4年次)

知識・言語と情報社会:各1(1-4年次)

モダンの系譜:各1(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB
各4(1-4年次)

体育科目

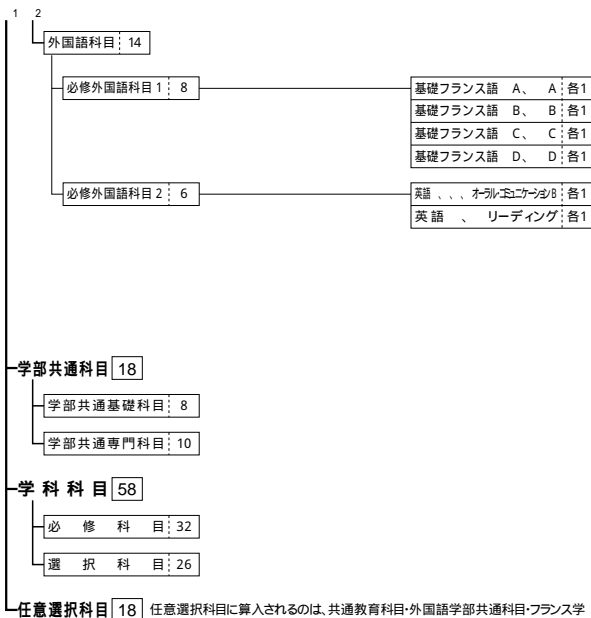
スポーツ実技:各1(2-4年次)

情報科目

情報リテラシー:2(1-2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修:2(3年次)



任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・外国語学部共通科目・フランス学科科目の内で所定の単位数を超過して修得した科目、および他学部・他学科科目。(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。

外国語学部 ドイツ学科

外国語学部ドイツ学科カリキュラム表

【外国語学部ドイツ学科】

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学部共通専門科目	選択必修			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
学 科 目	必修科目を28単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を24単位以上、合計58単位以上を修得しなければならない。				
	必修	28単位修得しなければならない。			
		ドイツ研究入門 (2) ドイツ研究入門 (2) ドイツ語作文 (1) ドイツ語作文 (1) ドイツ語講読 (1) ドイツ語講読 (1)	ドイツ研究入門 (2) ドイツ語作文 (1) ドイツ語作文 (1) ドイツ語講読 (1) ドイツ語講読 (1) ドイツ語文法 (1) ドイツ語文法 (1) ドイツ語 コミュニケーション (2) ドイツ語 コミュニケーション (2)	演習 (2) 演習 (2)	演習 (2) 演習 (2)
	選択必修	6単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	選択	24単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
任意選択科目		18単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、ドイツ学科の学 科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。 (2) 外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなけれ ばならない。			

卒業に必要な単位数

外国語学部ドイツ学科

総単位数 128

共通教育科 34

必修科目: 6

宗教科目

宗教論; 2(1年次)

キリスト教概論; 2(2年次)

体育科目

基礎体育A; 1(1年次)

基礎体育B; 1(1年次)

選択必修科目: 14

人間の尊厳科目: 4(2~4年次)

テーマ科目: 10

異文化との出会い; 各2(1~4年次)

生命と環境; 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会; 各2(1~4年次)

モダンの系譜; 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技; 各1(2~4年次)

情報科目

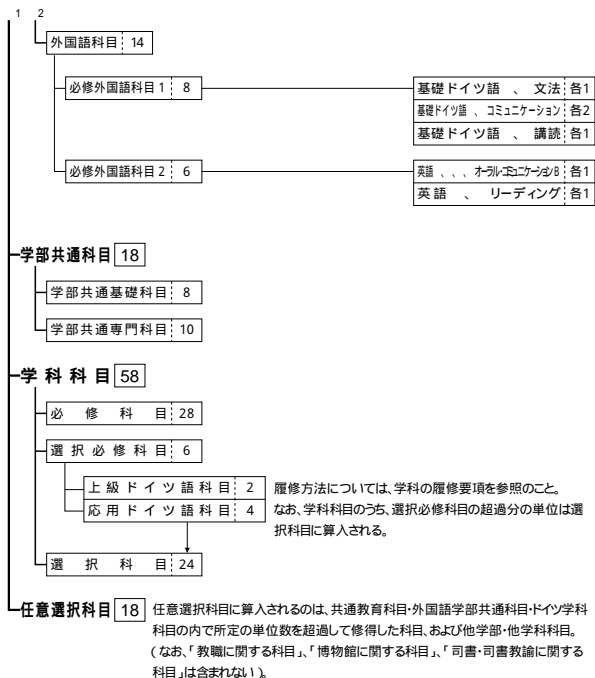
情報リテラシー; 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修; 2(3年次)

外国語学部

外国語学部 ドイツ学科



外国語学部アジア学科カリキュラム表

【外国語学部 アジア学科】

区分		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	選択必修			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
学 科 目	必修科目を18単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を32単位以上、合計56単位以上を修得しなければならない。				
	必修	18単位修得しなければならない。			
		入門演習(2) 日本とアジア(2) 中国語 発音・聴力(1) 中国語 発音・聴力(1)	基礎演習(2) 日本とアジア(2)	演習(2) 演習(2)	演習(2) 演習(2)
	選択必修	6単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	選択	32単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
任意選択科目	20単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、アジア学科の 学科学目内の、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。 (2) 外国語学部他学科学目の学科学目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3) 他学部の学部共通科目、学科学目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければ ならない。				

卒業に必要な単位数

外国語学部アジア学科

総単位数 128

共通教育科 34

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育 A 1(1年次)

基礎体育 B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2-4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い 各1(1-4年次)

生命と環境 各1(1-4年次)

知識・言語と情報社会 各1(1-4年次)

モダンの系譜 各1(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB

各4(1-4年次)

体育科目

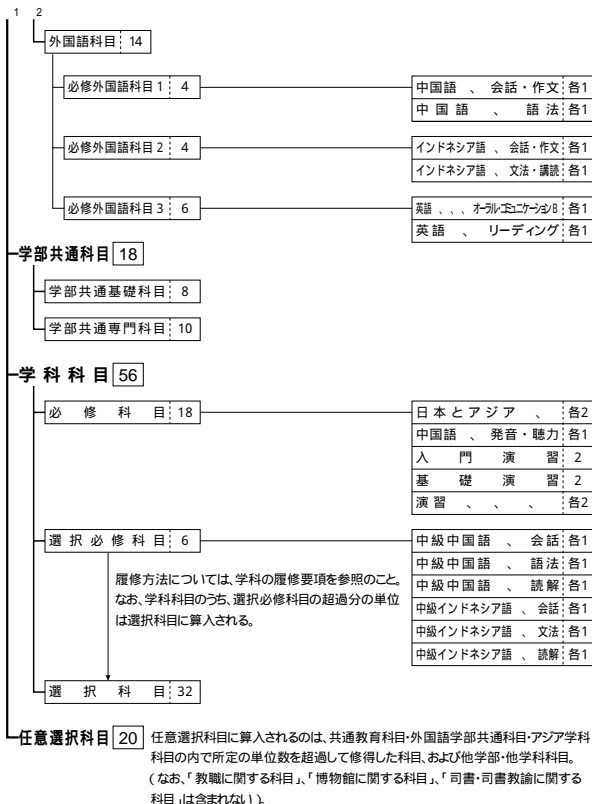
スポーツ実技 各1(2-4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1-2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)



経済学部履修要項

. 科目履修上の一般要件

1. 経済学部の学生が卒業に必要な単位数は124単位である。この124単位のうち、共通教育科目を少なくとも32単位、経済学科科目を少なくとも76単位修得する必要がある。卒業に必要な残りの16単位については、共通教育科目、経済学科科目、他学科で開講される科目の中から任意に科目を選択して修得することができる。ただし科目の履修に際しては、この経済学部履修要項に定められた履修要件に従わなければならない。
2. 教員職員免許状取得資格を得ようとするものは、「教職課程履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
3. 博物館学芸員資格を得ようとするものは、「博物館に関する授業科目履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
4. 司書および司書教諭の資格を得ようとするものは、「司書・司書教諭に関する授業科目履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
5. 教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目は卒業にかかわらない自由科目であり、修得した単位は卒業に必要な単位に算入されない。
6. 卒業にかかわる授業科目については1学期に履修登録できる単位数の上限を22単位とする。通年4単位科目は1学期あたり2単位として計算する。自由科目の履修登録単位数については制限を設けない。
7. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。

. 共通教育科目の履修要件

1. 共通教育科目の履修については「共通教育科目履修要項」に従わなければならない。以下においては履修要件の要点を再掲するとともに、経済学部の決定に委ね

られている部分についての履修要件を定める。

2. 共通教育科目の中の、履修が必要な科目、必要単位数、履修年次は以下のとおりである。

宗教科目（4単位・必修）

第1年次

宗 教 論（2）

第2年次

キリスト教概論（2）

体育科目（2単位・必修）

第1年次

基礎体育 A（1） 基礎体育 B（1）

「人間の尊厳」科目（2科目4単位・選択必修）

第2年次以降

宗教に見る人間の尊厳（2） 哲学・倫理学における人間の尊厳（2）

思想史に学ぶ人間の尊厳（2） 政治・経済と人間の尊厳（2）

法と人間の尊厳（2） 性と生命における人間の尊厳（2）

教育・文化における人間の尊厳（2） 民族問題と人間の尊厳（2）

テーマ科目（5科目10単位・選択必修）

以下の4テーマの中から、(i) 1テーマを選択して5科目10単位を修得するか、(ii) 2テーマを選択して5科目10単位（ただし1テーマにつき2科目以上）を修得しなければならない。

第1年次以降

「異文化との出会い」（2） 「生命と環境」（2）

「知識・言語と情報社会」（2） 「モダンの系譜」（2）

分野科目

最低必要単位数を定めていないが、修得した単位は卒業に必要な単位に算入することができる。

情報科目

経済学部の学生は「情報リテラシー」を履修することはできない。

インターンシップ科目

最低必要単位数を定めていないが、修得した単位は卒業に必要な単位に算入することができる。履修年次は3年次とする。

外国語科目（8単位・必修 | 4単位・選択必修）

必修外国語は英語を8単位、選択必修外国語はフランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語、の中から1言語を選択して4単位修得しなければならない。それぞれの言語の科目指定と履修年次は下表のとおりである。

		1年次	
		春学期	秋学期
必修外国語 (8単位)	英語	英語 オールコミュニケーションB(1) 英語 リーディング(1)	英語 オールコミュニケーションB(1) 英語 リーディング(1)
選択必修 外国語 (4単位)	フランス語	フランス語 文法・講読(1) フランス語 会話・作文(1)	フランス語 文法・講読(1) フランス語 会話・作文(1)
	ドイツ語	ドイツ語 文法・講読(1) ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 文法・講読(1) ドイツ語 会話・作文(1)
	スペイン語	スペイン語 文法・講読(1) スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 文法・講読(1) スペイン語 会話・作文(1)
	ポルトガル語	ポルトガル語 文法・講読(1) ポルトガル語 会話・作文(1)	ポルトガル語 文法・講読(1) ポルトガル語 会話・作文(1)
	中国語	中国語 語法 (1) 中国語 会話・作文(1)	中国語 語法 (1) 中国語 会話・作文(1)
	韓国朝鮮語	韓国朝鮮語 文法・講読(1) 韓国朝鮮語 会話・作文(1)	韓国朝鮮語 文法・講読(1) 韓国朝鮮語 会話・作文(1)
	インドネシア語	インドネシア語 文法・講読(1) インドネシア語 会話・作文(1)	インドネシア語 文法・講読(1) インドネシア語 会話・作文(1)
	ラテン語	ラテン語 文法 (1) ラテン語 講読 (1)	ラテン語 文法 (1) ラテン語 講読 (1)
	ギリシャ語	ギリシャ語 文法(1) ギリシャ語 講読(1)	ギリシャ語 文法(1) ギリシャ語 講読(1)
		2年次	
		春学期	秋学期
必修外国語 (8単位)	英語	英語 オールコミュニケーションB(1) 英語 音声表現 (1)	英語 オールコミュニケーションB(1) 英語 ライティング(1)

3. 宗教科目と体育科目の必修科目を除いて、最低必要単位数を越えて修得した共通教育科目の単位は、所定の範囲で卒業に必要な単位に算入することができる。

経済学部

経済学部 経済学科

・経済学科科目の履修要件

1. 経済学科科目については、以下に定める履修要件に従って必修科目を28単位、選択必修科目を少なくとも4単位、関連分野科目を除く選択科目を少なくとも40単位修得し、さらに経済学科科目全体で少なくとも76単位を修得しなければならない。
2. 経済学科の開設科目、必要単位数、履修年次は次のとおりである。

(1) 必修科目 (28単位)

〔演習科目〕

第1年次

経済演習 (4)

第2年次

経済演習 (4)

第3年次

経済演習 (4)

第4年次

経済演習 (4)

〔基礎科目〕

第1年次

ミクロ経済学 (4) マクロ経済学 (4)

データ処理入門 (2) 経済学のための数学 (2)

(2) 選択必修科目 (4単位)

〔入門科目〕

第1年次以降

現代経済入門 (2) 経済史入門A (2)

経済史入門B (2) 経済思想入門 (2)

経済統計入門 (2)

(3) 選択科目 (経済外国語科目と専攻分野科目で40単位)

〔経済外国語科目〕

第2年次以降

経済英語 (2) 経済英語 (2)

ビジネス英語 (2) ビジネス英語 (2)

時事英語 (2) 時事英語 (2)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)
(理論と情報) (理論と情報)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)
(政策) (政策)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)
(国際) (国際)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)
(歴史と思想) (歴史と思想)

〔専攻分野科目〕

第2年次以降

〔経済分析と情報〕

計量経済学 (2) 計量経済学 (2)

経済統計論 (2) 経済統計論 (2)

理論経済学 (2) 理論経済学 (2)

情報経済学 (2) 情報経済学 (2)

データ解析 (2) データ解析 (2)

オペレーションズ・リサーチA (2) オペレーションズ・リサーチB (2)

特別テーマ講義A (2) 特別テーマ講義B (2)
(理論と情報) (理論と情報)

〔日本経済の分析と政策〕

経済政策論 (2) 経済政策論 (2)

経済変動論 (2) 経済変動論 (2)

日本経済論 A (2) 日本経済論 B (2)

財政学 (2) 財政学 (2)

金融論 (2) 金融論 (2)

労働経済学 (2) 労働経済学 (2)

公共経済学 (2) 公共経済学 (2)

産業組織論 A (2) 産業組織論 B (2)

社会保障論 A (2) 社会保障論 B (2)

特別テーマ講義A (2) 特別テーマ講義B (2)
(政策) (政策)

〔国際経済と政策〕

国際経済学 (2) 国際経済学 (2)

開発経済学 (2) 開発経済学 (2)

国際金融論 (2) 国際金融論 (2)

経済学部 経済学科

国際経済政策論 (2)	国際経済政策論 (2)
アジア経済論 (2)	アジア経済論 (2)
アメリカ経済論 (2)	アメリカ経済論 (2)
特別テーマ講義A (2) (国際)	特別テーマ講義B (2) (国際)

〔経済の歴史と思想〕

西洋経済史 A (2)	西洋経済史 B (2)
日本経済史 (2)	日本経済史 (2)
経済思想史 (2)	経済思想史 (2)
経済倫理学 (2)	経済倫理学 (2)
経済体制論 (2)	経済体制論 (2)
経済学史 (2)	経済学史 (2)
消費社会論 (2)	消費社会論 (2)
特別テーマ講義A (2) (歴史と思想)	特別テーマ講義B (2) (歴史と思想)

〔関連分野科目〕(最低必要単位数を定めない)

第1年次以降

会計原理 (2)	会計原理 (2)
----------	----------

第2年次以降

経営学総論 A (2)	経営学総論 B (2)
経営組織論 A (2)	経営組織論 B (2)
企業論 A (2)	企業論 B (2)
経営財務論 A (2)	経営財務論 B (2)
マーケティング論A (2)	マーケティング論B (2)
経営史 A (2)	経営史 B (2)
経営労務論 A (2)	経営労務論 B (2)
現代産業論 (2) (総合商社論)	現代産業論 (2) (損害保険論)
現代産業論 (2) (都市銀行論)	現代産業論 (2) (電子・電機産業論)
現代産業論 (2) (自動車産業論)	現代産業論 (2) (ツーリズム概論)
民法 (2)	民法 (2)
商法 (2)	商法 (2)

第3年次以降

職業指導 A(2) 職業指導 B(2)

経済法 (2) 経済法 (2)

労働法 (2) 労働法 (2)

行政法 (2) 行政法 (2)

3. 「経済演習」の単位を修得していなければ、「経済演習」を履修登録することはできない。
また「経済演習」と「経済演習」は原則として同じ担当者の演習科目でなければならない。
4. 「経済演習」の単位修得のためには、「卒業論文」を提出して審査に合格することが必要である。
5. 「現代産業論」は、2科目4単位を上限として卒業に必要な単位数に算入することができる。これを超えて単位を修得した科目は自由科目とされ、卒業に必要な単位数に算入することができない。

・他学部・他学科科目の履修要件

1. 他学科で開講される科目を履修して修得した単位は、所定の範囲で卒業に必要な単位数に算入することができる。ただし履修の際は、当該学部・学科の履修要項に定められた履修要件に従わなければならない。
2. 前項の科目履修の際、経済学科科目と同一名称の科目を履修することはできない。

・その他の履修要件

1. 単位を修得した科目の重複履修はできない。
2. 科目名の末尾に「A」「B」のついた科目は、履修の順序を定めている積み上げ科目なので、「A」「B」を履修するためには、原則として「A」「B」のついた同じ名称の科目を履修していなければならない。科目名の末尾の「A」「B」だけが異なる科目は、履修の順序を定めていない独立した科目なので、それぞれ別個に履修することができる。
3. 海外留学中に履修した英語プログラムは、別に定める「『英語プログラム』の単位認定について」の規程に従

って単位を認定する。

- 4 . 休学の後に復学した者は、原則としてそれまでの修業年数に応じた年次指定科目に限って履修登録することができる。

「英語プログラム」の単位認定について

経済学部では、海外留学を奨励するという趣旨に則り、留学先で修得した「英語プログラム」の単位認定を以下の方法により行う。

- ・「英語プログラム」の単位認定の手続きは正規の授業科目の単位認定に必要な申請手続きに準ずるものとし、以下の基準により単位を認定する。
 - (1) 認定単位数の計算は、「南山大学授業科目履修規程」にある外国語科目の単位数計算の基礎に基づいて行う。
 - (2) 「英語プログラム」により履修した科目は、経済学科科目の「経済英語 ・ Ⅰ」、「ビジネス英語 ・ Ⅰ」、「時事英語 ・ Ⅰ」、「外書講読（理論と情報）A・B」、「外書講読（政策）A・B」、「外書講読（国際）A・B」、「外書講読（歴史と思想）A・B」、または「経済演習」として認定する。
 - (3) 留学先で修得した正規の授業科目を含めた認定単位数が30単位を超える場合は、「英語プログラム」の方の認定単位を調整し、認定単位数を30単位以下におさえる。
- ・留学先大学から「英語プログラム」の成績が提出されないときは、以下の条件のいずれかが満たされた場合に、前条の(1)Ⅱ(2)Ⅲに従って認定する。
 - (1) 留学中あるいは帰国直後に受けたTOEFLの得点が500点以上ある場合。
 - (2) 前項(1)の得点が国際教育センター委員会の記録に記載された留学前のTOEFLの得点と比べて60点以上向上した場合。
- ・留学先大学で修得した英語以外の外国語の単位認定についても、上記の認定基準を適用する。

卒業に必要な単位数

経済学部経済学科

総単位数 **124**

共通教育科目 **32**

必修科目: 6

宗教科目

宗教論; 2(1年次)

キリスト教概論; 2(2年次)

体育科目

基礎体育A; 1(1年次)

基礎体育B; 1(1年次)

選択必修科目: 4

「人間の尊厳」科目; 各2~4年次

選択必修科目: 10

テーマ科目

異文化との出会い; 各2~4年次

生命と環境; 各2~4年次

知識・言語と情報社会; 各2~4年次

モダンの系譜; 各2~4年次

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目: 0

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習、スポーツ科学演習
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技; 各1(2~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修; 2(3年次)

外国語科目: 12

必修外国語科目: 8

選択必修外国語科目: 4

経済学部

		1年次		2年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
必修外国語科目 (8単位)	英語	英語 オーラル・ コミュニケーションⅠ(1) 英語 リーディングⅠ(1)	英語 オーラル・ コミュニケーションⅠ(1) 英語 リーディングⅠ(1)	英語 オーラル・ コミュニケーションⅠ(1) 英語 音声表現Ⅰ(1)	英語 オーラル・ コミュニケーションⅠ(1) 英語 ライティングⅠ(1)
選択必修外国語 科目 (4単位)	フランス語	フランス語 文法・講義Ⅰ) フランス語 会話・作文Ⅰ)	フランス語 文法・講義Ⅰ) フランス語 会話・作文Ⅰ)		
	ドイツ語	ドイツ語 文法・講義Ⅰ) ドイツ語 会話・作文Ⅰ)	ドイツ語 文法・講義Ⅰ) ドイツ語 会話・作文Ⅰ)		
	スペイン語	スペイン語 文法・講義Ⅰ) スペイン語 会話・作文Ⅰ)	スペイン語 文法・講義Ⅰ) スペイン語 会話・作文Ⅰ)		
	ポルトガル語	ポルトガル語 文法・講義Ⅰ) ポルトガル語 会話・作文Ⅰ)	ポルトガル語 文法・講義Ⅰ) ポルトガル語 会話・作文Ⅰ)		
	中国語	中国語 語法Ⅰ) 中国語 会話・作文Ⅰ)	中国語 語法Ⅰ) 中国語 会話・作文Ⅰ)		
	韓国朝鮮語	韓国朝鮮語 文法・講義Ⅰ) 韓国朝鮮語 会話・作文Ⅰ)	韓国朝鮮語 文法・講義Ⅰ) 韓国朝鮮語 会話・作文Ⅰ)		
	インドネシア語	インドネシア語 文法・講義Ⅰ) インドネシア語 会話・作文Ⅰ)	インドネシア語 文法・講義Ⅰ) インドネシア語 会話・作文Ⅰ)		
	ラテン語	ラテン語 文法Ⅰ) ラテン語 講義Ⅰ)	ラテン語 文法Ⅰ) ラテン語 講義Ⅰ)		
ギリシャ語	ギリシャ語 文法Ⅰ) ギリシャ語 講義Ⅰ)	ギリシャ語 文法Ⅰ) ギリシャ語 講義Ⅰ)			

学 科 科 目 76

必修科目：28	演習科目：16
	基礎科目：12
選択必修科目：4	入門科目
選択科目：40	経済外国語科目
	専攻分野科目
選択科目：0	関連分野科目

他学部・他学科科目 0

- (注Ⅰ)記載された単位数は各科目分類別の最低必要単位を示している。
- (2) 共通教育科目の32単位、経済学教科目の76単位を合計した108単位は、卒業に必要な総単位数の124単位に達していない。この不足分の16単位については、共通教育科目(必修科目を除く)、経済学教科目(必修科目を除く)および他学科で開講される科目(履修不可科目を除く)の中から任意に履修した科目の単位で充当することができる。
- (3) 経済学教科目の最低必要単位数は76単位であるが、必修科目の28単位、選択必修科目の4単位、関連分野科目を除く選択科目の40単位を合計した72単位では4単位不足している。この4単位分は、選択必修科目および関連分野科目を含む選択科目の中から任意に履修した科目の単位で充当する。
- (4) 本学の単位認定制度により、他学部・他学科科目として認められた単位で充当することができる。

経営学部経営学科履修要項

1. 経営学部経営学科学生は共通教育科目32単位以上、経営学科科目70単位以上を含め、合計128単位以上を履修しなければならない。

なお、卒業に必要な単位数128単位のうち、上記の共通教育科目32単位および経営学科科目70単位を差し引いた残りの26単位は、経営学科科目、共通教育科目および他学部・他学科科目のいずれの授業科目の単位であってもよい(ただし、自由科目を除く)。

2. 共通教育科目(32単位)の履修は次のとおりである。

- (1) 必修科目(6単位)を修得しなければならない。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

- (2) 選択必修科目(14単位)を次のとおり修得しなければならない。

第1年次以降

次のテーマの中から1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または2テーマを選択して5科目10単位修得すること(但し、1テーマ2科目以上)。なお、科目の詳細は「共通教育科目履修要項」を参照すること。

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から、2科目4単位以上修得すること。

- (3) 外国語科目(12単位)を次のとおり修得しなければならない。

必修外国語科目(8)

第1年次

英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)

経営学部 経営学科

英語 リーディング (1) 英語 ライティング (1)

第2年次

英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)

英語 リーディング (1) 英語 ライティング (1)

選択必修外国語科目 (4)

次の外国語の中から1種類の外国語を選択して、4単位修得すること。なお、科目の詳細は「共通教育科目履修要項」を参照すること。

フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語、英語

3. 経営学科に開設する学科科目およびその体系は次のとおりである。なお、各科目の講義内容その他の詳細は「授業科目履修案内(講義概要) 経済・経営・法」を参照すること。

演習科目

基礎演習 (2) 基礎演習 (2)
(情報基礎) (外書講読)A

基礎演習 (2) 基礎演習 (2)
(外書講読)B (プレゼミナール)

経営演習 (4) 経営演習 (4)

スキル科目

[ビジネス英語]

ビジネス英語 A (1) ビジネス英語 B (1)

ビジネス英語 A (1) ビジネス英語 B (1)

ビジネス英語 A (1) ビジネス英語 B (1)

ビジネス英語 A (1) ビジネス英語 B (1)

[簿記]

商業簿記 (2) 商業簿記 (2)

工業簿記 (2) 工業簿記 (2)

[情報・解析]

経営数学 (2)	経営統計学 (2)
情報処理 A (2)	情報処理 B (2)
データ解析 (2) (組織・労務)	データ解析 (2) (財務)
データ解析 (2) (マーケティング)	データ解析 (2) (会計)
データ解析 (2) (企業)	

専門科目

[基礎科目]

経済原論 (2)	経済原論 (2)
数学 (2)	数学 (2)
統計学 (2)	統計学 (2)

[コア科目]

総論・組織・労務論

経営学総論 A (2)	経営学総論 B (2)
経営組織論 A (2)	経営組織論 B (2)
経営労務論 A (2)	経営労務論 B (2)
労使関係論 A (2)	労使関係論 B (2)
組織心理学 A (2)	組織心理学 B (2)
国際人事管理論 A (2)	国際人事管理論 B (2)

財務論

経営財務論 A (2)	経営財務論 B (2)
投資論 A (2)	投資論 B (2)
資本市場論 A (2)	資本市場論 B (2)
国際財務論 A (2)	国際財務論 B (2)
金融派生商品論 (2)	

マーケティング論

マーケティング論 A (2)	マーケティング論 B (2)
マーケティング・マネジメント A (2)	マーケティング・マネジメント B (2)

経営学部 経営学科

市場調査論 A (2) 市場調査論 B (2)
流通論 A (2) 流通論 B (2)

会計学

会計原理 (2) 会計原理 (2)
財務会計論 A (2) 財務会計論 B (2)
株式会社会計論 A (2) 株式会社会計論 B (2)
原価計算論 A (2) 原価計算論 B (2)
管理会計論 A (2) 管理会計論 B (2)
監査論 A (2) 監査論 B (2)
経営分析論 A (2) 経営分析論 B (2)
税務会計論 A (2) 税務会計論 B (2)

[一般科目]

経営史 A (2) 経営史 B (2)
企業論 A (2) 企業論 B (2)
グローバルビジネス論 A (2) グローバルビジネス論 B (2)
経営管理論 A (2) 経営管理論 B (2)
経営戦略論 A (2) 経営戦略論 B (2)
経営環境論 A (2) 経営環境論 B (2)
国際比較経営論 A (2) 国際比較経営論 B (2)
オペレーションズ・リサーチ A (2) オペレーションズ・リサーチ B (2)
経営情報論 A (2) 経営情報論 B (2)
経営倫理 (2) 商法 (2)
商法 (2) 英語ビジネスディスカッション A (2)
英語ビジネスディスカッション B (2) 英語ビジネス論文作成法 A (2)
英語ビジネス論文作成法 B (2) 経営学特殊講義 A (2)
経営学特殊講義 B (2)

[関連科目]

金融論 (2) 金融論 (2)
産業組織論 A (2) 産業組織論 B (2)
労働経済学 (2) 労働経済学 (2)
国際経済学 (2) 国際経済学 (2)

民法	(2)	民法	(2)
労働法	(2)	労働法	(2)
経済法	(2)	経済法	(2)
行政法	(2)	行政法	(2)
現代産業論 (総合商社論)	(2)	現代産業論 (都市銀行論)	(2)
現代産業論 (損害保険論)	(2)	現代産業論 (電子・電機産業論)	(2)
現代産業論 (自動車産業論)	(2)	現代産業論 (起業論)	(2)
現代産業論 (ツーリズム概論)	(2)	現代産業論 (先輩経営者と語る)	(2)
職業指導 A	(2)	職業指導 B	(2)

[その他]

英語ビジネス論文作成指導 (2)

4. 経営学科科目の必修・選択必修・選択・任意選択・自由の指定、単位数および履修年次は次のとおりである(カッコ内の数字は単位数を示す)。

必修科目

演習科目(8単位)

第3年次

経営演習 (4)

第4年次

経営演習 (4)

選択必修科目

演習科目(6単位以上)

第1年次

基礎演習(2) 基礎演習(2)
(情報基礎) (外書講読)A

第2年次

基礎演習(2) 基礎演習(2)
(外書講読)B (プレゼミナル)

経営学部 経営学科

スキル科目（8単位以上）

第1年次

ビジネス英語 A（1） ビジネス英語 B（1）

ビジネス英語 A（1） ビジネス英語 B（1）

商業簿記（2） 商業簿記（2）

情報処理 A（2）

[注：春学期に「基礎演習(情報基礎)」を履修後に履修]

第2年次

ビジネス英語 A（1） ビジネス英語 B（1）

ビジネス英語 A（1） ビジネス英語 B（1）

工業簿記（2） 工業簿記（2）

経営数学（2） 経営統計学（2）

情報処理 B（2）

第3年次以降

データ解析（2） データ解析（2）
（組織・労務） （財務）

データ解析（2） データ解析（2）
（マーケティング） （会計）

データ解析（2）
（企業）

選択必修専門科目（24単位以上）

第1年次

[基礎科目]

経済原論（2） 経済原論（2）

数学（2） 数学（2）

[コア科目]

経営学総論 A（2） 経営学総論 B（2）

会計原理（2） 会計原理（2）

第2年次

[基礎科目]

統計学（2） 統計学（2）

[コア科目]

経営労務論 A（2） 経営労務論 B（2）

経営財務論 A（2） 経営財務論 B（2）

マーケティング論 A（2） マーケティング論 B（2）

選択科目

選択専門科目（24単位以上）

第2年次以降

〔コア科目〕

経営組織論 A (2)	経営組織論 B (2)
資本市場論 A (2)	資本市場論 B (2)
流通論 A (2)	流通論 B (2)
財務会計論 A (2)	財務会計論 B (2)
株式会社会計論 A (2)	株式会社会計論 B (2)
原価計算論 A (2)	原価計算論 B (2)

〔一般科目〕

経営史 A (2)	経営史 B (2)
企業論 A (2)	企業論 B (2)
経営管理論 A (2)	経営管理論 B (2)
経営環境論 A (2)	経営環境論 B (2)
経営情報論 A (2)	経営情報論 B (2)
経営倫理 (2)	商法 (2)
商法 (2)	

〔関連科目〕

民法 (2)	民法 (2)
--------	--------

第3年次以降

〔コア科目〕

労使関係論 A (2)	労務関係論 B (2)
組織心理学 A (2)	組織心理学 B (2)
国際人事管理論 A (2)	国際人事管理論 B (2)
投資論 A (2)	投資論 B (2)
国際財務論 A (2)	国際財務論 B (2)
金融派生商品論 (2)	マーケティング・マネジメント A (2)
マーケティング・マネジメント B (2)	市場調査論 A (2)
市場調査論 B (2)	管理会計論 A (2)
管理会計論 B (2)	監査論 A (2)
監査論 B (2)	経営分析論 A (2)
経営分析論 B (2)	税務会計論 A (2)
税務会計論 B (2)	

経営学部 経営学科

[一般科目]

グローバルビジネス論A (2)	グローバルビジネス論B (2)
経営戦略論 A (2)	経営戦略論 B (2)
国際比較経営論A (2)	国際比較経営論B (2)
オペレーションズ・リサーチA (2)	オペレーションズ・リサーチB (2)
英語ビジネスディスカッションA (2)	英語ビジネスディスカッションB (2)
英語ビジネス論文作成法A (2)	英語ビジネス論文作成法B (2)
経営学特殊講義A (2)	経営学特殊講義B (2)

[関連科目]

金融論 (2)	金融論 (2)
産業組織論 A (2)	産業組織論 B (2)
労働経済学 (2)	労働経済学 (2)
国際経済学 (2)	国際経済学 (2)
労働法 (2)	労働法 (2)
経済法 (2)	経済法 (2)
行政法 (2)	行政法 (2)
現代産業論 (2) (総合商社論)	現代産業論 (2) (都市銀行論)
現代産業論 (2) (損害保険論)	現代産業論 (2) (電子・電機産業論)
現代産業論 (2) (自動車産業論)	現代産業論 (2) (起業論)
現代産業論 (2) (ツーリズム概論)	現代産業論 (2) (先輩経営者と語る)
職業指導 A (2)	職業指導 B (2)

任意選択科目 (0 単位以上)

- ・ 共通教育科目 (必修科目を除く)
- ・ 他学部・他学科に開講される科目 (他学部・他学科履修不可科目を除く)
(注意) 他学部・他学科に開設される学科科目・学部共通科目で履修を許可された科目の履修年次は、当該学部・学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。
- ・ 大学の単位認定制度により、任意選択科目として認め

られたもの。

自由科目（卒業必要単位数に算入されない科目）

- ・第4年次秋学期
- 英語ビジネス論文作成指導（2）

5. 、 またはA、Bが付された科目の履修登録方法は下記のとおりとする。

- (1) 授業科目に 、 が付されている科目は、原則として、 の履修後でなければ を履修登録することができない。 、 が付されている科目も同様とする。
- (2) 授業科目にA、Bが付されている科目は、AまたはBのいずれか一つを履修登録することができる。ただし、止むを得ない場合を除いて、A、Bともに履修登録することが望ましい。

6. 演習科目を各履修年次の指導教員制クラスとする。従って、第2年次を修了するまでは、毎学期、必ず基礎演習科目を履修登録しなければならない。

なお、6単位を越えて単位を修得した基礎演習科目は選択専門科目に振り替えることができる。

7. 「経営演習」および「経営演習」を履修登録するためには、下記の条件を満たさなければならない。

- (1) 「経営演習」を履修登録するためには、原則として、共通教育科目および経営学科科目の単位を合計44単位以上修得し、併せて選択必修専門科目の単位を12単位以上修得していなければならない。
- (2) 「経営演習」は、「経営演習」の単位修得後でなければこれを履修登録することができない。

8. 「経営演習」を履修している年度の途中で海外の大学に留学する場合には、当該留学先大学で履修した科目の単位をもって「経営演習」の単位に読み替えることができる。

9. 「経営演習」の単位を修得するためには卒業論文を作成し、指定された期日までにこれを提出しなければならない。

なお、卒業論文が満たすべき要件、提出期日等については別に定める。

10. 「データ解析」および「現代産業論」は、以下に示す単位数を上限として卒業必要単位数に算入することができる。上限を越えて単位を修得した科目は自由科目とする。
 - (1) 「データ解析」は3科目6単位まで。
 - (2) 「現代産業論」は2科目4単位まで。
11. 24単位を越えて修得した選択必修専門科目の単位は、選択専門科目に振り替えることができる。
12. 経営学部経営学科の学生は、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」および「図書館司書・図書館司書教諭に関する科目」を自由科目として履修登録することができる。
13. 瀬戸キャンパスで開講される科目の履修は2年次からとする。ただし、科目毎の年次制限が優先される。また、キャンパスが異なる場合は、学則上同一名称の科目で複数回履修することを妨げない。なお、瀬戸キャンパスで履修した科目（共通教育、学部・学科）は任意選択科目として認める。
14. 経営学部経営学科の学生が1学期に履修登録することが許される単位数は22単位までとする（自由科目は含まない）。
なお、スキル科目は、第1年次は1学期につき2単位、第2年次以降は1学期につき4単位を越えて履修登録することはできない。また、他学部、他学科に開講される科目は、1学期につき4単位を越えて履修登録することはできない。
15. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多（S）」による不合格とする。

基礎演習(プレゼミナル)・一部のスキル科目・ 経営演習 の予備登録について

基礎演習(プレゼミナル)、ビジネス英語スキル科目および経営演習 を履修するためには、事前に予備登録を行なう必要がある。予備登録の説明会は、基礎演習(プレゼミナル)については毎年5月頃に、スキル科目については毎年12月頃に、経営演習 については毎年11月頃に実施する予定なので、掲示には十分注意すること。

松山大学経営学部との単位互換協定について

松山大学経営学部との単位互換協定による特別聴講生を希望する学生は秋頃に教務課窓口で説明を受けること。

経営学部経営学科カリキュラム表

【経営学部 経営学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	
共通教育科目			32単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学科科目 (70単位以上)	必修科目	演習科目				経営演習 (4)	経営演習 (4)
	選択必修科目	演習科目	6単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。 [第2年次を修了するまでは毎学期、必ず基礎演習科目を履修登録しなければならない] [6単位を超えて単位を修得した基礎演習科目は、選択専門科目に振り替えることができる]				
	必修科目	スキル科目	8単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。				
	必修科目	選択必修専門科目	24単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。 [24単位を超えて単位を修得した選択必修専門科目は、選択専門科目に振り替えることができる]				
	必修科目	選択専門科目	24単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。				
任意選択科目			0単位以上 詳細は「履修要項」の第4項を参照。 共通教育科目(必修科目を除く) 他学部・他学科に開講される科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) 大学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの。				
自由科目			英語ビジネス論文作成指導2) 教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目(卒業に必要な単位には算入されない。)				

選択必修科目の「データ解析」は、3科目6単位まで卒業必要単位数に算入することができる。

選択科目の「現代産業論」は、2科目4単位まで卒業必要単位数に算入することができる。

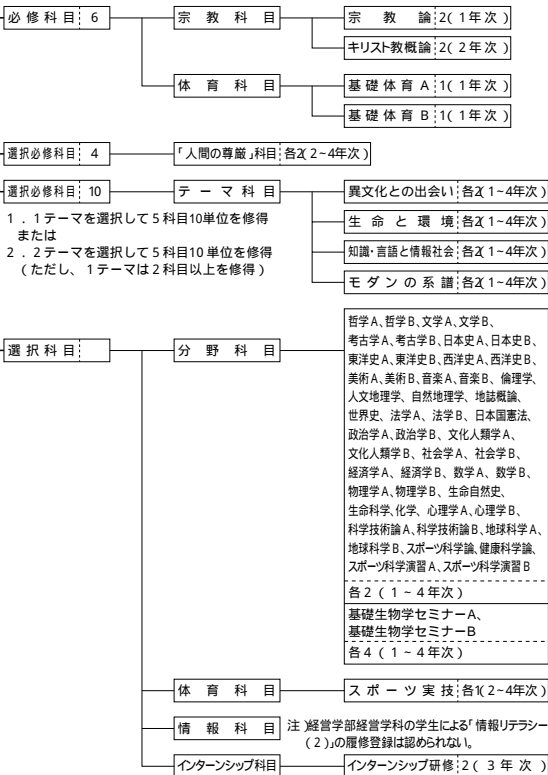
(注)卒業に必要な単位数128単位のうち、卒業に必要な共通教育科目32単位および卒業に必要な経営学科科目70単位を差し引いた残りの26単位は、経営学科科目、共通教育科目および他学部・他学科科目のいずれの授業科目の単位であってもよい(ただし、自由科目を除く)。

卒業に必要な単位数

経営学部経営学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **32以上**



経営学部

1 2

外国語科目 12

必修外国語科目 8

英 語 8

英語、、、オラルコミュニケーション 各1
英語、リーディング 各1
英語、ライティング 各1

選択必修外国語科目 4

1 外国語 4 単位を修得すること。

フ ラ ンス 語 4

フランス語、文法・講読 各1
フランス語、会話・作文 各1

ド イ ツ 語 4

ドイツ語、文法・講読 各1
ドイツ語、会話・作文 各1

ス ペ イ ン 語 4

スペイン語、文法・講読 各1
スペイン語、会話・作文 各1

ポ ル ト ガ ル 語 4

ポルトガル語、文法・講読 各1
ポルトガル語、会話・作文 各1

中 国 語 4

中国語、語法 各1
中国語、会話・作文 各1

韓 国 朝 鮮 語 4

韓国朝鮮語、文法・講読 各1
韓国朝鮮語、会話・作文 各1

イ ン ド ネ シ ア 語 4

インドネシア語、文法・講読 各1
インドネシア語、会話・作文 各1

ラ テ ン 語 4

ラテン語、文法 各1
ラテン語、講読 各1

ギ リ シ ャ 語 4

ギリシャ語、文法 各1
ギリシャ語、講読 各1

英 語 4

英語、音声表現 各1
英語、、、総合 各1
英語、リーディング 各1

学 科 科 目 70以上

必修科目 8

演 習 科 目

経営演習、各4

選択必修科目 38

演 習 科 目 6

基礎演習 各2

注)6 単位を超えて単位を修得した基礎演習科目は選択専門科目に振り替えることができる。

スキル科目 8

選択必修専門科目 24

注)24 単位を超えて修得した選択必修専門科目の単位は
選択専門科目に振り替えることができる。

選 択 科 目 24

選 択 専 門 科 目 各 2

任 意 選 択 科 目 0 以上

注)卒業必要総単位数128単位のうち、卒業に必要な共通教育科目32単位および卒業に必要な学科科目70単位を差し引いた残りの26単位は、学科科目、共通教育科目および他学部・他学科科目のいずれの授業科目の単位であってもよい。(ただし、自由科目を除く)。

法学部履修要項

1. 法学部学生は、「共通教育科目」、「学科科目」および「任意選択科目」を履修して、卒業に必要な132単位を履修しなければならない。このうち、共通教育科目については最低28単位、学科科目については最低92単位を履修しなければならない。卒業に必要な残り12単位については、学科科目、または、任意選択科目 共通教育科目のうち必修科目を除くすべての科目、他学部開講科目、および本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたものから、任意に科目を選んで履修して、単位を修得しなければならない。

2. 共通教育科目の履修方法は次のとおりとする。
 - (1) 必修科目 (6 単位)
 - 第1年次
 - 宗 教 論 (2) 基 礎 体 育 A (1)
 - 基 礎 体 育 B (1)
 - 第2年次
 - キリスト教概論 (2)
 - (2) 選択必修科目 (14単位)
 - 第1年次

下記のテーマから、1テーマを選択してその中から5科目10単位、または2テーマを選択してその中から5科目10単位(ただし、1テーマは2科目以上)

「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」
 - 第2年次以降

「人間の尊厳」科目から4単位以上

科目の詳細は、それぞれの要項を参照すること。
 - (3) 外国語科目 (8 単位)
 - 必修科目 (4 単位)
 - 英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)
 - 英語 リーディング (1) 英語 リーディング (1)
 - 選択必修科目 (4 単位)

次の外国語の中から、一種類の外国語を選択して、4

法学部 法律学科

単位修得すること（外国語科目の詳細については共通教育科目履修要項を参照すること）。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語

3. 共通教育科目の選択科目（分野科目、情報科目およびインターンシップ科目）で履修した単位は、日本国憲法（2）、法学A（2）、法学B（2）を除き、任意選択科目として12単位を限度に、卒業に必要な単位に算入される。
4. 法学部に開設する学科科目とその単位数および履修年次は次のとおりとする。（カッコ内の数字は単位数を示す）

A群（第1年次及び第2年次以降配当科目）

第1年次

ベーシック演習（4） 公 法 入 門（2）
私 法 入 門（2） 憲 法 A（人 権）（4）
憲法B（統治機構）（4） 民 法 総 論（4）
刑 法 総 論（4）

第2年次

ミドル演習（4） 行 政 法 総 論（4）
行 政 法 各 論（4） 刑 法 各 論（4）
刑 事 訴 訟 法（4） 刑 事 政 策（4）
国 際 法 総 論（4） 物 権 法（4）
契 約 法（4） 不 法 行 為 法（2）
家 族 法（4） 商法総則・商行為法（4）
会 社 法（4） 民 事 訴 訟 法（4）
労 働 法（4） 国 際 私 法（4）
法 哲 学（4） 法 社 会 学（4）
日 本 法 史（4） 西 洋 法 史（4）
英 米 法（2） ド イ ツ 法（2）
フ ラ ン ス 法（2） ス ペ イ ン 法（2）
政 治 学 原 論（4） 行 政 学（4）
政 治 思 想 史（4） 政 治 史（2）
国 際 政 治 学（4） 国 際 機 構 論（2）

外 書 講 読 (4) 経 済 原 論 (4)

B群 (第3年次以降および第4年次配当科目)

第3年次以降

法 学 演 習 (4) 地 方 自 治 法 (2)

税 財 政 法 (4) 国 際 法 各 論 (4)

担 保 物 権 法 (2) 債 権 法 総 論 (4)

手 形 法 ・ 小 切 手 法 (4) 保 険 法 ・ 海 商 法 (4)

経 済 法 (4) 企 業 会 計 法 (2)

民 事 執 行 法 (4) 倒 産 法 (4)

国 際 取 引 法 (2) 社 会 保 障 法 (2)

企 業 法 務 (2) 国 際 企 業 法 務 (2)

少 年 法 (2) 経 済 刑 法 (2)

第4年次

法 学 演 習 (4)

- 5 . 法学部学生は、A群で64単位以上を修得しなければならない。卒業に必要な学科科目のうち、残り最低28単位については、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。
- 6 . 第1年次においてベーシック演習の単位を修得できなかったときは、休学による場合を除き、再履修することができないので、A群から4単位を修得してこれに代えなければならない。
- 7 . 第2年次においてミドル演習の単位を修得できなかったときは、休学による場合を除き、再修得することができないので、A群から4単位を修得してこれに代えなければならない。
- 8 . A群の公法入門および私法入門については、休学等の理由により事実上1年次生と同様であると認められない限り、第2年次生以上は履修することができない。

法学部 法律学科

9. 法学演習 は、法学演習 の単位を修得した者のみが、履修することができる。また、法学演習 の単位を修得するためには、卒業論文を提出しなければならない。
10. 法学部学生は、教職に関する科目、博物館に関する科目及び司書・司書教諭に関する科目を自由科目として履修することができる(ただし、各科目とも定められた履修年次を遵守しなければならない)。これらは、卒業に必要な単位の算入されない。
11. 第1・2・3年次生の履修可能単位数は春学期・秋学期それぞれ26単位とし、第4年次以降の履修可能単位数は各期それぞれ30単位とする(なお通年科目の単位数については、各期ごとに単位数を割り振る。したがって、4単位の通年科目を登録した場合、その科目につき各期2単位を登録したものと計算する)。ただし、自由科目(教職に関する科目、博物館に関する科目および司書・司書教諭に関する科目)については、上記の制限を受けずに履修することができる。
12. 欠席の時間が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。

法学部法律学科カリキュラム表

【法学部 法律学科】

区分		年次別		第 3 年 次	第 4 年 次
		第 1 年 次	第 2 年 次		
共通教育科目		28単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 科 科 目 (92 単 位 以 上)	A 群	64単位以上修得しなければならない。 学科科目の卒業必要単位92単位のうち、上記64単位を差し引いた残り28単位は、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照			
	B 群	学科科目の卒業必要単位92単位のうち、A群で修得した64単位以上を差し引いた残り最大28単位は、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照			
任意選択科目		0 - 12単位 詳細は、「履修要項」を参照 共通教育科目のうち必修科目を除くすべての科目で、日本国憲法(2)、法学A(2)、法学B(2)以外の科目 他学部・他学科開講科目 本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの。			
自由科目		教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目			

卒業に必要な単位数

法学部法律学科

総単位数 **132**

共通教育科目 **28以上**

必修科目 **6**

宗教科目

宗教論：2(1年次)

キリスト教概論：2(2年次)

体育科目

基礎体育A：1(1年次)

基礎体育B：1(1年次)

選択必修科目 **4**

「人間の尊厳」科目：各2(2-4年次)

選択必修科目 **10**

テーマ科目

異文化との出会い：各2(1-4年次)

生命と環境：各2(1-4年次)

知識・言語と情報社会：各2(1-4年次)

モダンの系譜：各2(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、倫理学、
人文地理学、自然地理学、地誌概論、
世界史、政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B
各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB
各4(1-4年次)

体育科目

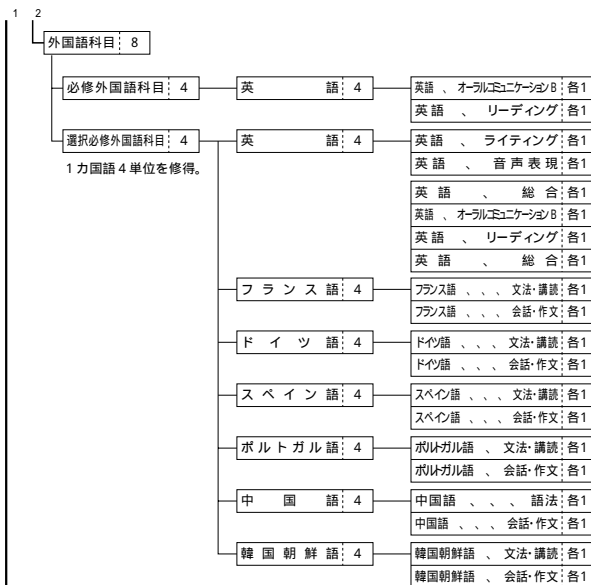
スポーツ実技：各1(2-4年次)

情報科目

情報リテラシー：2(1-2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修：2(3年次)



法学部

学科科目 92以上

- A 群: 1・2～4年次 — 64単位以上
- B 群: 3～4年次

任意選択科目 (上記以外で卒業単位数に算入出来るもの) 0～12

- 共通教育科目のうち必修科目、日本国憲法、法学A、法学Bを除くすべての科目
- 他学部開講科目
- 本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの。

「会計士講座」と公認会計士・税理士試験

1. 会計士講座

公認会計士・税理士を目指す学生は、「会計士講座」に入会して、勉強することができる。会計士講座の運営は会計士講座に所属する学生に委ねられている。本学教員および会計士講座OBとの交流も考えられている。大学は講座室を提供し、運営資金の一部を援助している。

2. 公認会計士および税理士

公認会計士または税理士を目指す者は、下記の事項を承認したうえで、授業科目を選択・履修することが望ましい。

(1) 公認会計士の業務と公認会計士試験

公認会計士の業務は、大きく分けて、監査業務、税務業務、および マネジメント・アドバイザー・サービス(MAS)業務の3つの業務からなる。

公認会計士監査は、まさに公認会計士に固有の業務であり、上場会社等が作成する損益計算書、貸借対照表、その他の財務諸表に虚偽記載がないか、公正不偏な第三者の立場から、会計専門家としての意見を表明する一連の業務を指す。有価証券報告書等に記載される監査意見の付された財務諸表は、投資家や金融機関等、企業を取り巻く多くの利害関係者の意思決定に利用されるため、監査業務は、社会的に極めて責任の重い、公認会計士に固有の業務とされている。

公認会計士は、税務業務も行える。第3次試験に合格すると、税理士法により、税理士の登録資格が得られるからである。税務業務のうち、とりわけ国際税務サービスは、企業活動の国際化にともなう公認会計士の新たな活動領域となっている。

コンピュータの導入による経営情報システムの設計がその一例であるが、いわゆるMAS業務も、会計に関する専門知識ならびに企業経営全般に関する幅広い識見に裏打ちされた、公認会計士の重要な活動領域になっている。

公認会計士となるための試験は、第1次試験、第2次試験、および第3次試験からなる。これらのうち、第1次試

験は各種の免除規定があり、例えば次の該当者は免除される。大学、短期大学または高等専門学校を卒業した者、4年生大学に2年以上在学し、44単位以上修得した者、専修学校の専門課程を修了した者、司法試験ないし不動産鑑定士試験の第1次試験合格者。このため、一般に公認会計士試験といえば、第2次試験を指す。

公認会計士試験は、平成7年に実施された試験から、新しい制度に改められた。新制度による第2次試験は、短答式試験と論文式試験の2段階からなる。短答式試験は、毎年1回5月に、そして論文式試験は、短答式試験の合格者に対して、毎年1回7月下旬に実施される予定である。

試験科目は、短答式試験が簿記、財務諸表論、原価計算、監査論、商法の5科目、論文式試験は、これら5科目に経営学、経済学、民法の3科目のうちから2科目選択、合わせて7科目で実施される。

短答式試験の合格基準は、論文式試験の受験機会をできる限り広く与えつつ、論文式試験の採点の精度を確保できる程度に公認会計士審査会が決定することになっている。論文式試験の合格基準は、総点数の60%がその原則であるが、1科目につき、その満点の40%に満たない科目のある者は不合格とされる場合がある。

(2) 税理士の業務と税理士試験

税理士は、他人の求めに応じ、報酬を得て、次のことを業とする者である。

- ・ 租税の申告
- ・ 申請などの税務代理
- ・ 税務書類の作成
- ・ 税務に関する相談

税理士になるための試験を受ける資格は、税理士法によって学識、資格、職歴、認定ごとに規定されている。このうち大学に関係があると思われるものに、法律学又は経済学を主たる履修科目とする学部（法学部、経済学部、商学部、経営学部）・学校を卒業した者、上記以外の学部（文学部、工学部など）・学校を卒業した者で、一般教育科目等において、法律学又は経済学に関する科目を1科目以上履修した者、大学3年次以上の学生で法律学又は経

済学に関する科目を含め62単位以上を取得した者、 大学
3年次以上の学生で法律学又は経済学に関する科目を含め
36単位以上を取得した者（ただし、外国語及び保健体育科
目を除き、最低24単位の一般教育科目が必要）がある。

試験科目は下記のとおりである。合否の判定は科目別
に行われる。税理士の資格は、簿記論、財務諸表論の会計学
2科目と税法3科目、合計5科目の合格者に与えられる。
ただし、税法に関しては、所得税法、法人税法の2科目の
うち、少なくとも1科目に必ず合格しなければならない。

簿記論	財務諸表論
所得税法	法人税法
相続税法	国税徴収法
住民税又は事業税	固定資産税
消費税法又は酒税法	

(3) 履修上の注意

公認会計士試験・税理士試験の「簿記」および「簿記論」
の内容は、本学では、会計原理、商業簿記、および株式会
社会計論で、また、「財務諸表論」は、財務会計論および
株式会社会計論で講義されている。

公務員試験について

公務員は国家機関に勤務する国家公務員と地方自治体に勤務する地方公務員に大別され、その各々について多くの職種（種・種、職・職など）があります。受験希望者は、それぞれの適性・能力を勘案して目標を定め、周到に準備しなければなりません。一般行政職の公務員試験に関して言えば、人文科学・自然科学に関する教養試験の他に、憲法・行政法・民法・政治学などの法律関係科目および経済原論・財政学・経済政策などの経済関係科目の基礎学力と応用能力を試す試験があります。

本学においても、公務員試験の受験希望者が増えています。公務員になろうとする者は、上述の広範な学力に加えて、判断力・指導力・協調性やバランス感覚を含む高度な人格識見が必要とされます。そのような観点からも、日頃の修養を怠らないようにしたいものです。

公務員試験の受験希望者に対し、法律学科目については法学部で開講されている「法職特別課外講座」の受講を勧めます。講座の詳細については、次頁以下の説明を読んでください。

なお、司法試験受験希望者等に対して、本学では、「法職特別課外講座」が勉学の支援を行なっています。

「法職特別課外講座」について

本講座は、ロースクール入学試験、司法試験や公務員試験など、法律科目が受験科目となっている試験の受験に臨む本学在学学生および卒業生（いずれも大学院を含む）を対象に毎年開講されます。科目毎に複数のコースが用意され、主に本学法学部教員が指導にあたります。司法試験については、平成8年度からいわゆる合格者枠制度が採られ、現在は従前の倍近い1,000名以上が合格し、近い将来3,000名程度に増加されることになっています。本学出身者では、既に20名近くが法曹（裁判官・検察官・弁護士）として活躍しています。最近では、多くの合格者が出ています（12・13年は各4名）から、以前よりは多少身近な試験になったとも言えるでしょう。諸君の積極的な参加を期待します。

なお、詳細は、法学部発行の『めざせ！スペシャリスト - 法職特別課外講座案内（募集要項）』を参照してください。

卒業論文等提出についての注意事項

卒業論文提出にあたっては、以下の諸事項について十分注意してください。

卒業論文題目の提出

論文を提出しようとする学生は、論文題目を決定し、各学科の指示に従い、期日までに届けてください。(具体的な期日、届出先、方法などは各学科によって異なります。)

人文学部生

人文学部生の研究プロジェクト報告書(卒業論文)作成は指導教員の指示に従ってください。また、表紙については、12月中旬に所定の「表紙用添付用紙」を教務課で配布しますので、それを表紙に貼って提出してください。

外国語学部生

外国語学部生の論文作成は各学科並びに指導教員の指示に従ってください。

経済学部生

経済学部生の論文作成は下記の要領に従ってください。

- (1) A4判用紙、字数は原則として20,000字以上。ただし必要に応じてグラフや表を含めることも可。
- (2) 外国語で作成する場合は指導教員の指示に従ってください。
- (3) 論文のタイトルページは別表の様式を参考にしてください。
- (4) 大学指定ファイルの表紙に教務課提供の「表紙用添付用紙」を貼り、必要事項を記載してください。

経営学部生

経営学部経営学科生の論文作成は下記の要領に従ってください。

- (1) ワープロ・ソフトあるいはワープロ専用機を使用して、A4判用紙に印刷してください。
- (2) 字数は20,000文字以上。
- (3) 欧文でも作成することができますが、作成要領については指導教員の指示に従ってください。
- (4) 指導教員の上承を前提に共同論文を認めます。その

際、下記の要領に従ってください。

(ア) 各自の担当部分を必ず明確にしてください。

(イ) 各自の担当部分の字数は20,000字以上。

(ウ) 論文の提出の際には、代表者でなく各自が論文全体あるいは担当部分を提出してください。どちらを提出するかについては指導教員の指示に従ってください。

(5) 論文には、12月中旬に教務課で配布する「表紙用添付用紙」を受け取り表紙に貼って提出してください。

また、扉には別表の様式により必要事項を記載してください。

法学部生

法学部生は、下記の要領に従って卒業論文を提出してください。

(1) 用紙は、ワープロ使用の場合 A 4 判用紙を、やむをえず手書きをする場合は400字詰または800字詰の原稿用紙を用いてください。

(2) 論文作成枚数は、ワープロ使用の場合20,000字以上、手書きの場合は400字詰50枚以上または800字詰25枚以上になっています。

(3) 論文には、12月中旬に教務課で配布する「表紙用添付用紙」を受け取り表紙に貼って提出してください。また、扉は別表の様式に従ってください。

筆記用具等

筆記用具に関しては159頁の表を参照してください。

論文題目の変更

届け出た論文題目を変更する必要がある場合は、各学部の指示に従って、届け出てください。(具体的な期日、届出先、方法などは各学科によって異なります)

論文提出期限

論文提出期限は「授業日予定表」を参照すること。提出期限を過ぎたものは一切受理しないので、期日間際になってあわてないように注意して準備してください。

別表

(縦書の場合)

提出 年 月 日	南山大学 学生番号 氏名	南山大学 学部 学科	論文 題目	卒業論文	南山大学 学部 教授演習
-------------------	--------------------	------------------	----------	------	--------------------

(横書の場合)

南山大学 学生番号 氏名	南山大学 学部 学科	卒業論文	論文題目	南山大学 学部 教授演習
--------------------	------------------	------	------	--------------------

作成筆記用具並びに装丁等について

学部	学 科	筆 記 用 具 等	装丁(ファイル形式等)
人 文	キリスト教	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
	人類文化	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
	心理人間	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
	日本文化	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
外 国 語	英 米	ワードプロセッサ	学科指定ファイル
	スペイン・ラテンアメリカ	ワードプロセッサ	学科指定ファイル
	フランス	ワードプロセッサ	指導教員の 指定するファイル
	ドイツ	ワードプロセッサ	学科指定ファイル
	アジア	ワードプロセッサ	学科指定ファイル
経 済	経 済	原則として、ワードプロセッサ。手書きの場合は、黒またはブルーブラックのインク(ボールペンを含む)	大学指定ファイル
経 営	経 営	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
法	法 律	原則として、ワードプロセッサ。手書きの場合は、黒またはブルーブラックのインク(ボールペンを含む)	大学指定ファイル

派遣留学生の帰国後における 授業科目履修に関する手続等取扱要領

1. 新規登録について

(1) 春学期科目の新規登録期限は、4月末日とする。

(2) 通年科目の新規登録期限

留学先大学の学期末が本学の新学年度の登録期間を過ぎる場合、留学先大学で受験を必要とする試験の最終日の7日後まで登録延期が認められるが、5月末日を最終期限とする。

ただし、留学先大学で受験を必要とする試験の最終日が5月末日ないし6月初めの場合は、教務委員会の許可により、その7日後まで新規登録の延期が認められる。許可申請は原則として3月末までに行うこと。所定申請用紙は教務課で交付する。

(3) 集中講義科目の新規登録期限は、春学期授業終了日とする。

(4) 秋学期科目の新規登録期限は、秋学期授業開始1週間後とする。

2. 通年科目の継続登録について

(1) 留学前の手続

学年中途で外国に留学する学生が留学前履修中の授業科目を帰学後継続して履修するためには、留学前に教務課において、所定の手続を経、かつ2(2)に定める期日までに履修継続の登録をしなければならない。ただし、帰国後に同一科目が開講されていないときは、継続して履修することができないことがある。

(2) 継続登録の期限は、秋学期授業開始1週間後とする。

3. 演習等について

各学科によって異なる。『派遣留学生の「演習」等の認定方法』に定めるところによる。

なお、演習科目の登録期限・方法については上記定めによらない。

外国人留学生の授業科目履修に関する特例

第1条 この特例の適用をうける外国人留学生（以下「外国人留学生」という）とは、外国人留学生入学審査によって、本学学部学生として入学を許可された者をいう。

第2条 外国人留学生は、授業科目履修に関して、「南山大学授業科目履修規程」ならびに関連する諸規程の他にこの特例に従わなければならない。

第3条 外国人留学生は、「日本語」3単位、「日本語」2単位、「日本語」3単位を履修しなければならない。ただし、これと同等以上の日本語能力をもつと学部・学科が判断した者については、その履修を免除することがある。

第4条 外国人留学生は、前条に定める「日本語」3単位、「日本語」2単位、「日本語」3単位のほか、共通教育科目として開講されている外国語科目のうち、いずれか4単位以上を履修することを原則とする。ただし、その履修に関しては学部・学科の指示に従うものとする。

第5条 外国人留学生については、共通教育科目、学部共通科目及び学科科目について、学部・学科での修得すべき単位数のうち12単位までを「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」および「総合日本語AⅠ」「総合日本語BⅠ」についての単位で代えることができる。ただし、その履修に関しては学部・学科の指示に従うものとする。

第6条 各学部・学科が教育上必要と判断した場合は、帰国子女学生にこの特例を準用することができる。

第7条 数理情報学部 に在籍する外国人留学生については、別に定める細則に従うものとする。

附 則

この特例は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和53年9月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成14年4月1日から施行する。

外国語検定試験による単位認定制度について

外国語の能力を判定するために実施されている各種外国語検定試験で一定の基準に達し、かつ本学外国語担当教員による当該外国語面接試験に合格した学生に対して、以下の単位が認定される。

共通教育科目としての当該外国語（1年次）4単位が認定される場合

（本学への入学時まで、認定基準を満たしていること）

共通教育科目としての当該外国語（2年次）4単位が認定される場合

（2年次の開始時点までに、認定基準を満たしていること）

共通教育科目としての当該外国語（1年次および2年次）8単位が認定される場合

（本学への入学時まで、認定基準を満たしていること）

外国語名称	対象となる外国語検定試験		認定基準	
			の場合	との場合
英語	TOEFL *1	Paper-based total	530点～579点	580点以上
		Computer-based total	197点～236点	237点以上
	TOEIC *2		670点～819点	820点以上
	実用英語技能検定		準1級	1級
	ケンブリッジ大学英語検定試験		Level 3 (FCE) *3	Level 4 (CAE) 以上 *4
フランス語	実用フランス語技能検定 (DAPF)		3級	2級以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定		3級	2級以上
スペイン語	スペイン語技能検定		4級	3級以上
中国語	中国語検定		準2級	2級以上
	漢語水平考試 (HSK)		6級、7級	8級以上
	中国語コミュニケーション能力検定 (TEEC)		Cレベル (550点～669点)	Cレベル以上 (670点以上)

*1 TOEFL = Test of English as a Foreign Language

*3 FCE = First Certificate in English

*2 TOEIC = Test of English for International Communication

*4 CAE = Certificate in Advanced English

ただし、共通教育科目としての必修外国語の8単位が1年次に配当されている学科は、以下の通り読み替える。

（1年次）4単位 （1年次春学期）4単位

2年次の開始時点 1年次秋学期の開始時点

(2年次)4単位 (1年次秋学期)4単位
(1年次および2年次)8単位 (1年次春学期および
秋学期)8単位

認定を希望する学生は4月8日まで(当日が事務休業日の場合は、次の事務取扱日)に、申請書に当該外国語検定試験の得点(合格)証明書コピーを添えて、教務課(名古屋キャンパス)または学務係(瀬戸キャンパス)に提出すること。申請書は各窓口で配布する。

ただし、上記読み替えにより、1年次秋学期に単位認定を申請する場合(瀬戸キャンパス9月入学者を含む)は、9月26日(当日が事務休業日の場合は、次の事務取扱日)までに申請すること。なお、学年または学期の途中、あるいは学年または学期を遡っての単位認定は行わない。

愛知学長懇話会・単位互換事業による聴講制度について

愛知学長懇話会・単位互換事業は、愛知県内の他の大学が開放する特色ある授業科目を自由に履修し、単位を修得することができる制度です。この事業には南山大学を含む45大学が参加しており、修得した単位は、南山大学の単位として認定されます。

1. 出願について

資格：2年次以降

出願時期：春学期（秋学期科目も春学期のみの出願となる）

可能単位数：年間8単位まで。なお、この単位数は各学部が定める学期あたりの登録単位数には含まれない。

出願を希望する学生は、参加大学の開放科目や履修条件等を記載した募集要項と出願票を教務課で受け取り、必要事項を記入し教務課へ提出すること。出願期間等詳細は別途教務課HP等に掲示する。

2. 受講について

受講が決定したら教務課より本人に通知する。正式な決定以前に授業が開始される場合には仮受講が認められる。なお、応募者多数の場合は相手先大学による選考が行われる場合がある。

休講情報等の連絡事項は教務課HPに掲示する。

3. 試験について

相手先大学の試験と南山大学での試験日程が重複した場合は、相手先大学の試験を優先すること。その際、相手先大学から「単位互換科目受験証明書」の交付を必ず受けること。「単位互換科目受験証明書」の提出により、南山大学の追試験受験が可能となる（成績の1割減点なし、手数料無料）。

4. 単位認定について

成績は教務課より本人に通知する。単位認定を希望する場合は、単位認定申請書を教務課に提出すること。申請書は教務課にて配布する。

その他、詳細については教務課に問い合わせること。

瀬戸キャンパスの学生は、教務課を学務係と読み替える。

名古屋 / 瀬戸キャンパス間履修について

2004年度以降の名古屋 / 瀬戸キャンパス間履修の取り扱いは以下の通りとする。なおこの取り扱いは入学年度を問わず、全ての学生に適用する。

1. 単位の認定方法

- ・ 共通教育科目、学部・学科科目とも任意選択科目（経済学部は他学部・他学科科目）として、卒業に必要な単位に算入することができる（ただし2003年度までに自由科目として修得済みの他キャンパス科目の単位は遡って算入することはできない）。
- ・ 自由科目として履修する資格関係の科目は、任意選択科目（経済学部は他学部・他学科科目）として卒業に必要な単位に算入することはできない。

2. 履修

- ・ 学期ごとの履修の上限単位数は、別表の通りとする（各学部が定める学期ごとの上限単位数に含まれる）。ただし自由科目として履修する資格関係の科目は含まれない。
- ・ 履修年次は、別表の通りとする（科目毎の年次制限が優先される）。ただし資格関係の科目を除く。
- ・ 他学科履修不可の科目は履修することができない。

3. 定期試験

- ・ 他キャンパス科目と所属キャンパス科目の定期試験時間割が同一日に配置された場合は、「追試験受験許可願」の提出により、受験できなかった科目の追試験が認められる（1割減点なし、手数料無料）。ただし原則として所属キャンパス科目の試験を優先すること。

4. 登録手続

- ・ 登録は登録システム（Web）を使用して行う。履修登録カード（マークシート）での登録は受け付けない。登録にあたっては、移動時間を含めて、確実に授業に参加できる時間が確保できるように計画すること。

学部	学期ごとの履修登録の上限単位数(注)	履修年次
人文学部	設けない	2年次以上
外国語学部	設けない	2年次以上
経済学部	設けない	3年次以上
経営学部	1学期4単位まで (年間8単位まで)	2年次以上
法学部	設けない	3年次以上
総合政策学部	設けない	2年次以上
数理情報学部	設けない	2年次以上

(注：各学部が定める学期ごとの上限単位数に含まれる)

その他、詳細については教務課(学務係)に問い合わせること。